

1. 件 名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【316】
2. 日 時：令和4年11月16日 10時00分～12時00分
15時00分～16時30分
3. 場 所：原子力規制庁 9階B会議室（TV会議システムを利用）
9階D会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

忠内安全規制調整官、江寄企画調査官、千明主任安全審査官、
中村主任安全審査官、服部(正)主任安全審査官、三浦主任安全審査官、
谷口技術参与

技術基盤グループ

大橋技術研究調査官

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（電源土木） 他6名

電源事業本部 耐震設計土木グループ 担当副長 他3名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力土建部 設計管理グループ 担当※

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 原子力土木室 担当※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本ヒアリングについては、事業者から一部対面での開催の希望があったため、「まん延防止等重点措置の解除を踏まえた原子力規制委員会の対応」（令和4年3月23日 第73回原子力規制委員会 配布資料2）を踏まえ、一部対面で実施した。

6. 配付資料

なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい。
0:00:02	それでは、島根原子力発電所 2 号機の設工認のヒアリングを開始いたします。本日の説明項目は、
0:00:12	耐震計算書、防波壁の多重鋼管杭式溶液となります。
0:00:17	それでは、資料の確認と、
0:00:19	本日のヒアリングの進め方について、説明をお願いいたします。
0:00:25	はい、中国電力の清水です。
0:00:27	まず資料の確認をさせていただきます。
0:00:30	資料 4 点ございまして、まず、N-S に他 231 回 03、こちらを 7 番とさせていただきます。
0:00:41	続きまして、N-S2.2。
0:00:44	ー011ー04、こちらを資料番号 2 とさせていただきます。
0:00:53	次に、N-S、2ー添 2ー011ー07、こちらを A3 判の資料とさせていただきます。
0:01:06	最後に、N-S2ーホー027ー08 回 07、こちらを資料番号 4 番とさせていただきます。
0:01:18	資料の方はおそろいでしょうか。
0:01:22	失礼イトウというやつは、資料の方、確認取れましたので、はい、では進め方の方お願いします。
0:01:29	はい中国電力の清水です。本日の進め方ですけれども、まず防波壁多重鋼管杭式擁壁の耐震計算に関する説明ということで、新規の内容でございますので、
0:01:40	4 番の資料を中心に、一連を説明させていただこうと思っておりますその後コメントをお受けしたいと思っております。また、先週のヒアリングで衛藤多重鋼管ぐい式、
0:01:54	部位の許容限界に関するヒアリングの中で、受けたコメントを受けたコメントに関しましてもコメント回答の方、その 4 番の資料の説明の流れの中で、
0:02:04	意見させていただければと思っております。よろしく申し上げます。
0:02:10	スイッチフェーズ、ちょっと確認なんですけど、①の資料で、
0:02:15	許可時の申し送り事項、今回回答というものと、あとヒアリングですね江藤雪子にヒアリングの中で今回回答というものがあるんですけど、それはどのでミングで説明されますか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:37	中国電力清水です。まず新規の説明ということで4番資料を説明させていただきましてその後、
0:02:45	コメントとの対応についてご説明したいと思います。
0:02:52	では、その流れでいきたいと思いますので、説明の方をお願いいたします。
0:03:04	はい。中国電力の梶田です。
0:03:06	ぼ防波壁の多重鋼管杭式擁壁の耐震性についての計算書に関する補足説明紙につきまして、資料番号4を用いてご説明をさせていただきます。
0:03:18	資料番号4の通し番号5ページをお願いいたします。
0:03:25	10鋼管杭式擁壁に要求されます機能の維持を確認するに当たりましては、地震応答解析、または3次元構造解析により、施設地盤の健全性評価、
0:03:35	施設の変形性評価、及び基礎地盤の申請の評価を行う方針としております。
0:03:42	通し番号7ページをお願いいたします。
0:03:46	構造概要をお示ししております。
0:03:49	多重鋼管式擁壁は、交換を多重化して、鋼管内をコンクリートまたはモルタルで充填した多重交換による杭基礎構造及び
0:03:58	鋼管と鉄筋コンクリート造のーコンクリート併記による上部構造から構成されております。
0:04:05	鋼管杭は岩盤に支持され、岩盤部では、隣り合う多重鋼管杭間をセメントミルクで間詰めしております。
0:04:12	#NAME?
0:04:18	通し番号5ページの下ほどから6ページにかけて、構造概要、通し番号9ページに概略配筋図をお示ししております。
0:04:27	通し番号13ページをお願いいたします。
0:04:31	13ページから16ページにかけて、多重鋼管杭式擁壁の各部位の役割、性能目標、評価項目及び評価フローをお示ししております。
0:04:42	通し番号19ページをお願いいたします。
0:04:46	評価対象断面の選定についてをし、お示ししております。
0:04:51	構造的・小構造的・特徴等を踏まえまして、
0:04:54	耐震評価上厳しいと考えられる断面を評価対象断面としております。
0:04:59	これまでのヒアリングから選定結果は変わっておりません。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:04	なお設置許可段階におきまして、11 断面が他の断面より厳しいというところでご説明をさせていただいておりましたが、今回の断面選定では、評価対象断面としては選定していないため、
0:05:17	断面選定が妥当なのかというところにつきましては、ご説明をするために、1 断面につきましては本資料の参考資料として、今後補足説明の資料に追加しご説明をさせていただきたいと考えております。
0:05:31	ページが飛びますが、通し番号 4 ページをお願いいたします。
0:05:37	目次になります。先ほどご説明いたしました 1 断面の評価結果につきましては、ページの一番下ほど、参考資料 3 として追加する予定ですが、
0:05:46	記載が、11 断面の耐震表、
0:05:49	となっております。正しくは 1 断面の耐震評価です。申し訳ございませんでした。
0:05:57	ページを戻っていただいて、通し番号 25 ページをお願いいたします。
0:06:03	解析方法についてお示しております。
0:06:06	地震応答解析は、二次元有限要素法を用いまして、水平地震動と鉛直地震動の同時加振による時刻歴応答解析を実施しております。
0:06:16	地震時における有効応力の変化に伴う影響を考慮するために、解析方法は有効応力解析としております。
0:06:23	構造部材につきましては線形梁要素でモデル化し、地盤につきましては、地盤のひずみ依存性を考慮できるようモデル化をしております。
0:06:30	解析コードといたしましては FLIP を使用しております。
0:06:35	多重交換杭式擁壁の各部位のうち、鋼管杭及び地盤改良の健全性評価、基礎地盤の申請の評価、並びに止水目地の変形性評価につきましては、二次元有限要素法、
0:06:46	皮膚コンクリート平均の健全性評価につきましては 3 次元構造解析により行っております。
0:06:52	通し番号 27 ページをお願いいたします。
0:06:57	地震応答解析のモデル化方法をお示しております。
0:07:01	ページの上ほどの施設につきましては、鋼管杭は線形梁要素でモデル化し、中詰めコンクリートにモルタルはモデル化せず、鋼管杭をモデル化した梁の単位体積重量に、
0:07:11	中詰めコンクリート及びモルタルの重量を考慮しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:15	フィックコンクリートへきは鋼管杭と比較いたしまして、剛性が低く、地震時の音への影響は軽微と考えられるため、モデル化せず、鋼管杭をモデル化した梁の単位体積重量に、
0:07:25	非コンクリートの重量を考慮しております。
0:07:29	秤量物対策工につきましても、非コンクリート平均に固定して設置するため、
0:07:34	先ほど同様に、
0:07:36	重量を考慮し、重量を考慮しております。
0:07:42	ページの中ほどの材料物性及び地盤物性につきましては、地震時の応答は、周辺地盤との相互作用を考慮するため、
0:07:50	地盤物性のばらつきとしまして、埋め戻しのばらつきを考慮した解析ケースを実施しております。
0:07:56	29 ページをお願いいたします。
0:08:00	地震応答解析の解析ケースをお示しております。
0:08:04	解析ケースといたしましては、提示したし、下ほどの表にお示しの通り、
0:08:09	ケース 1 の、
0:08:11	ケース 1 の基本ケースといたしまして、すべての評価対象断面及び基準地震動に対しましての解析、
0:08:17	ケース 2 及び 3 といたしまして、ケース 1 におきまして、各照査値が最も厳しい地震動を用いて、地盤物性のばらつき、 $\pm\sigma$ を考慮した解析。
0:08:28	ケース 4 といたしまして、先行してご説明をしております。逆T擁壁と同様に、施設護岸の損傷による足し不確かさを考慮した解析を実施しております。
0:08:38	通し番号 33 ページをお願いいたします。
0:08:43	こちらの 33 ページから 70 ページにかけて、地震応答解析の各種評価対象断面におけます入力地震動の加速度時刻歴、
0:08:53	及び加速度応答スペクトルをお示しております。
0:08:58	通し番号 71 ページをお願いいたします。
0:09:06	地震解析モデル及び諸元についてお示しております。
0:09:10	72 ページをお願いいたします。
0:09:13	72 ページから 75 ページにかけて、地震応答解析における解析モデルをお示しております。
0:09:21	通し番号 76 ページをお願いいたします。
0:09:27	地震応答解析モデルにおけます解析領域及び、境界条件を推すお示しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:35	通し番号 78 ページをお願いいたします。
0:09:40	ページの下ほどに、評価対象断面のうち 2 断面及び 33 断面の構造物のモデル化モデル化につきましてお示ししております。
0:09:50	構造物のうち鋼管杭につきましては、線形はり要素によりモデル化をしております。
0:09:56	79 ページをお願いいたします。
0:09:59	鋼管杭の断面積及び断面二次モーメントにつきましては、
0:10:03	多重鋼管杭を構成する各鋼管の断面積の合計、
0:10:08	及び断面二次モーメントの合計上設定しております。
0:10:12	次のページをお願いいたします。
0:10:17	評価対象断面のうち、44 段目のモデル化についてお示しをしております。
0:10:23	44 段目につきましては、図にお示しの通り、
0:10:27	取水管を横断取水管を横断している断面になります。
0:10:33	そのため、鋼管杭を法線直交方向に 2 列配置し、熱下は水は維持した鋼管杭が、荷重を伝達するように、杭と連結材にて連結をしております。
0:10:44	81 ページに杭と連結材の構造をお示ししております。
0:10:49	82 ページをお願いいたします。
0:10:54	先ほどご説明をいたしました 2 断面及び 33 断面と同様に、鋼管杭は線形梁要素でモデル化し、杭と連結材で一体となったとするため、同一座標でモデル化をしております。
0:11:06	9 イトウ連結材につきましては、鋼材の剛性を有する非線形場の要素としてモデル化し、
0:11:11	P間の荷重を伝達するようにしております。
0:11:15	海側の多重鋼管杭の地上部におきましては、取水管を横断するため、
0:11:20	鋼管杭が設置されていないフクイコンクリート駅があるため、2 断面 33 断面と比較いたしまして、フィックコンクリート併記による地震応答への影響が大きいと考えられるため、
0:11:30	鋼管杭が設置されていない範囲の非コンクリートへきも線形梁要素としてモデル化しております。
0:11:37	鋼管杭及び杭等連結材のモデル化のイメージを 83 ページにお示ししております。
0:11:46	84 ページをお願いいたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
 発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:50	44 断面の解析モデルにつきましては、全長約 38 メーターの防波壁を同一断面に集約したモデルとしております。
0:11:59	85 ページにイメージをお示ししております。
0:12:03	止水間を横断するため、鋼管杭の設置間隔が広いことを踏まえまして、鋼管杭及びコンクリート平均につきましては、等価の剛性を設定して線形はり要素としております。
0:12:14	鋼管杭及びコンクリート兵器の等価な剛性の設定方法といたしましては、棒は健全長のうち、鋼管杭の設置のありなしを考慮いたしまして、設定をしております。
0:12:25	通し番号 86 ページをお願いいたします。
0:12:31	44 断面におきましては、多重鋼管杭式擁壁の背後にある水槽の地震応答への影響を考慮するため、止水層をモデル化しております。
0:12:40	取水槽の解析用物性値は、審査資料のうち、建築物構築物の地震応答計算処理計算における入力地震動の評価についてご説明をしております。
0:12:50	表に示す物、値を採用しております。
0:12:54	通し番号 87 ページをお願いいたします。
0:13:00	地盤のモデル化についてお示しをしております。
0:13:03	逆T擁壁と、基本的には同同じ内容となっておりますが、異なる点といたしまして、88 ページをお願いいたします。
0:13:14	多重鋼管式多重鋼管杭式擁壁におきましては、施設護岸基礎ステーション、低いし、及び指定医師は、役割に期待しておりませんが、
0:13:24	波及的影響を考慮するために、解析モデルに取り込んでおります。
0:13:28	また、これらが多重鋼管杭式擁壁における鋼管杭の変形抑制に寄与する可能性があるため、不確かさのケースとして、施設護岸等が早々損傷した場合を想定いたしまして、
0:13:39	多重交換杭式擁壁の前面、または背面に施設護岸等がない場合の検討を実施しております。
0:13:47	また、既設木曽STACYを貫通するように鋼管杭を設置し、
0:13:51	既設停止による鋼管杭への影響が懸念される断面につきましては、
0:13:55	木曽清氏の物性が試験による取得が困難であること、及び文献を参照して設定すること。
0:14:01	による不確かさに対する配慮といたしまして、
0:14:04	木曽STACY及び福井市の解析用物性値を、
0:14:08	埋め戻しのうち、年制度で代表をしております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:14	通し番号 89 ページをお願いいたします。
0:14:18	89 ページから 100 ページにかけて、ジョイント要素の設定方法についてお示しをしております。
0:14:25	考え方につきましては、逆T擁壁と同様になります。
0:14:30	107 ページをお願いいたします。
0:14:36	107 ページ及び 108 ページに、許容限界についてお示ししております。
0:14:42	基本的には、設置許可段階でご説明をした通りとなっておりますが、追加事項といたしまして、107 ページの下ほどに 44 段目におけます、杭と連結材の照射におきまして、短期許容応力度、
0:14:57	を許容限界とする旨をお示しをしております。
0:15:02	通し番号 112 ページをお願いいたします。
0:15:08	3 次元構造会。
0:15:09	史跡についてお示しをしております。
0:15:12	多重鋼管杭式擁壁のコンクリートにつきましては、複数の鋼管杭で支持されているため、
0:15:18	図に示すような鋼管杭の法線直交方向の挙動の差異に伴うコンクリートへにおける法線方向のねじれにより生じる応力に対しまして、
0:15:28	健全性を確認するために、3 次元構造解析により耐震評価を実施しております。
0:15:35	解析コードといたしましては、ファイナンススターを用いております。
0:15:40	3 次元構造解析は、常時応力解析を行い、その上で、
0:15:44	地震時応力解析を行っており、地震時応力解析におきましては、
0:15:49	地震応答解析における法線直交方向の変位が最大となる。
0:15:54	地震動及び時刻を選定の上、当該時刻における変位及び慣性力を抽出いたしまして、3 次元構造解析モデルに入力することで、コンクリートの耐震評価を実施しております。
0:16:09	また、変位につきましては、地盤物性のばらつきを考慮した変位を用いることで、非コンクリート平均におけます、法線方向のねじれによる影響を考慮いたし、考慮しております。
0:16:22	通し番号 117 ページをお願いいたします。
0:16:27	3 次元構造解析モデルにおけます地盤ばねについてお示しをしております。
0:16:33	鋼管ぐいそう側面におきまして、水平方向及び鉛直方向の地盤ばねを設定することで、
0:16:39	鋼管杭に作用する地盤抵抗を表現をしております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:45	通し番号 122 ページをお願いいたします。
0:16:50	調査時刻の選定についてお示しをしております。
0:16:54	鋼管杭の挙動の差異に伴う公選法コウノねじりによる影響を考慮する観点から、
0:17:01	表にお示ししております。着ばく部位、
0:17:04	につきまして、主コンクリート片の鋼管杭の変位が最大となる時刻を地震応答解析から抽出しております。
0:17:14	通し番号 123 ページをお願いいたします。
0:17:20	三次元解析におけます入力値を示しております。
0:17:24	入力値の一覧を表に、入力のイメージを次図に示しております。
0:17:30	入力値のうち、慣性力及び交換変位につきましては、先ほどご説明した照射時刻において、地震応答解析から応答値を抽出いたします。
0:17:40	通し番号 126 ページをお願いいたします。
0:17:44	常時及び地震時荷重についてお示しをしております。
0:17:48	127 ページ及び 128 ページに各断面におけます応答加速度の抽出位置をお示ししております。
0:17:57	通し番号 129 ページをお願いいたします。
0:18:03	地震時荷重のうち、鋼管杭変位につきましては、コンクリートの法線方向のねじれを表現するため、入力いたします。
0:18:12	130 ページをお願いいたします。
0:18:17	ページ下ほどに、鋼管杭入力変位の入力概念図を、
0:18:22	お示ししております。
0:18:24	入力する変位といたしましては、地震応答解析におけます解析ケース 1 から 3 より変位が最大 1、変位の最大値、最小値となる変位量を、
0:18:35	両端の鋼管杭に設定し、その間の鋼管杭に線形補間した変量を設定しております。
0:18:43	132 ページをお願いいたします。
0:18:48	評価方法をお示ししております。
0:18:50	評価方法といたしましては、行力及びせん断力が、
0:18:55	せん断応力が許容限界以下であることを確認いたします。
0:18:59	評価 1 といたしましては、図に示すように、杭間としております。
0:19:04	3 次元解析からえられた断面力の算出に当たりましては、
0:19:07	日本コンクリート工学協会が発行しておりますガイドラインに準拠して算出いたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:13	応力度算定につきましては、解析コード、エマージングを使用しております。
0:19:20	通し番号 135 ページをお願いいたします。
0:19:26	評価結果のうち、地震応答解析結果をお示しております。
0:19:31	表に各断面におきまして、照査値が 0.5 を超える最も厳しい地震動をお示しております。
0:19:38	鋼管杭の曲げ照査が支配的な結果、結果となり、鋼管杭のせん断、基礎地盤の支持につきましては、照査値 0.5 を下回る結果となりました。
0:19:48	136 ページ以降に、各断面の調査地の詳細をお示しております。
0:19:55	通し番号 151 ページをお願いいたします。
0:20:02	151 ページから 158 ページにかけまして、鋼管杭の曲げ軸力系破壊及びせん断破壊に対する照査のうち、最も厳しい照査値となる結果及び、断面力図をお示しております。
0:20:17	158 ページをお願いいたします。
0:20:21	過剰間隙水圧分布をお示しております。
0:20:25	各断面の小冊子のうち、0.5 を超える小冊子で最大を示す解析ケースである、2 段目、3 段目の地震動 $S_s-D-Plus$ の過剰間隙水圧比の最大位置分布を、
0:20:37	158159 ページ及び 160 ページにお示しております。
0:20:45	通し番号 161 ページをお願いいたします。
0:20:50	最大せん断ひずみ分布をお示しております。
0:20:54	先ほどの過剰間隙水圧と同様に、2233 断面の $S_s-D-Plus$ の最大せん断ひずみの分布図を 162、及び 163 ページにお示しをしております。
0:21:07	一部で高いせん断ひずみが確認されておりますが、室内試験結果から説明可能な範囲であると考えております。
0:21:17	通し番号 175 ページをお願いいたします。
0:21:22	止水目地の変位に対する評価結果をお示しております。
0:21:27	地震時の変位量が許容限界以下であることを確認しております。
0:21:32	通し番号 182 ページをお願いいたします。
0:21:38	施設護岸等の損傷に蓋による不確かさの検討といたしまして、お示しをしております。
0:21:45	私不確かさのケースといたしまして、施設護岸等が損傷した場合を想定した重鋼管杭式擁壁の前面、または背面に施設護岸等がない場合の検討を実施いたしました。
0:21:57	次のページをお願いいたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:01	評価方針をお示しをお示しております。
0:22:06	評価対象断面といたしましては、荷重鋼管杭式擁壁の前に施設護岸等がある断面は、2断面のみとなるため、2断面を選定しております。
0:22:16	また、多重鋼管杭式擁壁の背面に施設護岸等がある断面は、施設護岸等の背面に埋め戻しがある、33断面を選定しております。
0:22:26	入力地震動につきましては、鋼管杭が施設護岸等の有無による影響を最も受けるため、鋼管杭の照査値に着目いたしまして、2断面及び3断面ともに、
0:22:36	鋼管杭の照査値、曲げ軸力系の破壊に対する照査が最大となるSs-D-Plusを選定いたしました。
0:22:46	なお、3番目につきましては、現在解析を実施中であるため、築地とさせていただきます。
0:22:54	2断面の施設護岸等のありなしの場合の解析モデルを184ページにお示しております。
0:23:04	186ページをお願いいたします。
0:23:09	表に、
0:23:11	曲げ及びせん断に対する施設護岸ありなしの場合の調査結果をお示しておりますが、
0:23:17	概ね同概ね同等な結果となりました。
0:23:23	なお、こちらの結果の説明文の最後に、
0:23:26	影響は軽微であることを確認したと記載をしておりますが、
0:23:30	不確かさの不確かさのケースとしての検討であるため、
0:23:34	影響の軽微についての記載は誤りであるため訂正をさせていただきます。申し訳ありませんでした。
0:23:41	次のページをお願いいたします。
0:23:46	小冊子が概ね同等となった要因の考察をお示し、お示しております。
0:23:52	ページ下に、施設護岸ありなしの照査値最大時刻におけます変形図をお示しておりますが、
0:23:59	施設護岸等がある場合、
0:24:02	の、防波壁は海側に変形し、前面の施設護岸等は、防波壁量もさらに海側に変形していることを確認しております。
0:24:11	また、施設護岸等がない場合の防波壁も同様に、海側に変形しており、施設護岸等のありなしによる変形形状は概ね同等であると判断いたしました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:22	施設側等が海側に大きく変形している要因といたしましては、
0:24:27	189 ページにお示しをしております、施設護岸等がある場合の過剰間隙水圧最大位置分布から、
0:24:34	施設護岸下部の、砂れき層が液状化することで、施設護岸等の海側への辺境変形が顕著となったためと判断しております。
0:24:44	通し番号 191 ページをお願いいたします。
0:24:50	皮膚コンクリートヘリの評価におきましては、-コンクリートへきの法線方向のねじれによる基準により生じる応力に対しまして、健全性を確認するため、
0:24:59	地震応答解析より変位等を抽出し、3次元構造解析を実施しております。
0:25:05	解析に当たりましては、コンクリートの評価が厳しくなる地震動及び詳細時刻を選定し、
0:25:11	ページ下、ページの下のほどにお示しをしておりますフローに基づいて評価を実施しております。
0:25:20	210 ページをお願いいたします。
0:25:27	それぞれの断面の評価対象位置をお示しをしております。
0:25:32	評価対象 1 は、交換の相対変位による荷重が作用する評価の厳しいか厳しくなる、杭間としております。
0:25:41	212 ページから 200 部、15 ページに各断面の調査結果の詳細をお示ししております。
0:25:51	各調査で許容限界以下であることを確認しております。
0:25:55	229 ページをお願いいたします。
0:26:03	ここからは、影響検討といたしまして、影響検討のうち、砂れき層の物性値に関する影響検討についてお示しをしております。
0:26:13	図にお示しの通り、多重鋼管杭式擁壁には佐伯層が分布しており、
0:26:18	230 ページにお示しをしております、解析用の物性値を設定しております。
0:26:29	231 ページをお願いいたします。
0:26:34	佐伯層の物性値のうち、内部摩擦角につきましては、
0:26:39	港湾技術、失礼しました。今日技研資料に基づきまして、図にお示しの通り、相対密度と内部摩擦角の関係により設定をしております。
0:26:50	また、G倍G0 のひずみ依存特性につきましては、繰り返し 3 軸試験を踏まえまして設定をしております。
0:27:01	232 ページをお願いいたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:05	佐伯層につきましては、道路土工に記載の自然地盤の歴史、
0:27:10	れきまじり砂に相当すると考えられます。
0:27:14	内部摩擦角は 35 から 40 度程度と考えられますが、
0:27:20	内部摩擦角を 35° 及び 40 度とした場合のG倍G0 ひずみ依存特性は、図のお示しの通り、解析用物性値と比較いたしましても、大きな差は認められないため、
0:27:31	耐震評価への影響は軽微であると考えられますが、内部摩擦角 35° と仮定した場合の影響検討を実施しております。
0:27:40	234 ページをお願いいたします。
0:27:45	評価結果をお示ししております。
0:27:48	調査結果は概ね同等であり、砂れき層の内部摩擦角による影響は軽微であることを確認しております。
0:27:56	通し番号 235 ページをお願いいたします。
0:28:02	年制度の物性値に関する影響検討についてお示ししております。
0:28:08	荷重鋼管杭式擁壁には、粘性とか主解析においては表に示す物性値を、
0:28:14	設定しております。
0:28:16	次のページをお願いいたします。
0:28:20	物性値のうち、粘着力及び内部過疎摩擦角につきましては、FLIP研究会のまとめ資料を踏まえまして、粘着力は 0 内部摩擦角は 0、30 度を設定しております。
0:28:33	また、自賠G0 のひずみ依存特性につきましては、繰り返し 3 軸試験を踏まえ、図に示す通り設定をしております。
0:28:42	次のページをお願いいたします。
0:28:45	年制度につきましては、3 軸圧縮試験結果から、臨着力の平均値として、21.7kNパー平米が確認されていることから、鉛直力の粘着力による、
0:28:58	影響を確認するため、粘性度の粘着力を 21.7 とした場合の影響検討を実施いたしました。
0:29:05	次のページをお願いいたします。
0:29:09	評価対象断面といたしましては、33 断面を選定しております。
0:29:15	中程に解析モデルをお示ししております。
0:29:19	239 ページをお願いいたします。
0:29:23	調査結果をお示ししております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:27	調査結果といたしましては、粘着力を考慮することで、調査調査値は小さくなることを確認いたしました。
0:29:35	次のページをお願いいたします。
0:29:38	調査結果が小さくなった要因の考察をお示しております。
0:29:43	下ほどに、粘着力ありなしでの断面力図をお示しておりますが、
0:29:48	粘着力が設置される範囲につきまして、曲げモーメントが小さくなっていることを確認いたしました。
0:29:53	よって、指導側の動圧が低減し、児童側の抵抗が通行することによる鋼管杭の変形抑制効果。
0:30:00	により照査値が小さくなったためと判断いたしました。
0:30:10	通し番号、
0:30:12	あ、失礼しました。
0:30:15	通し番号 241 ページをお願いいたします。
0:30:23	こちらから、多重交換。
0:30:25	多重鋼管ぐい子宮壁の多重鋼管ぐいの狂言会の確認のための
0:30:30	実験及び 3 次元FEM解析に係る説明資料としております。
0:30:37	前回、11 月 11 日のヒアリング資料からの追加、変更箇所のみご説明をさせていただきます。
0:30:45	都市米通し番号 259 ページをお願いいたします。
0:30:53	交換と中詰めコンクリート及びモリタ等のモルタルの境界要素の設定につきまして、
0:31:00	鉛直方向とせん断方向に分けて記載する方がわかりやすいとのご指摘がございましたので、
0:31:06	2 段目及び 3 段目の記載を修正をしております。
0:31:11	通し番号 262 ページをお願いいたします。
0:31:17	こちらはコメント回答になります。
0:31:20	資料番号 1、回答整理表の 6 ページをお願いいたします。
0:31:32	コメントの内容といたしましては、コメントNo. 25 にお示しをしております。
0:31:37	雇用減許容限界における交換の応力状態、幸福範囲、
0:31:42	融度と位置付けを説明することとのコメントです。
0:31:51	1 ページ、200、資料番号 4、通しページ 262 ページに戻っていただいて、
0:32:00	今回解析結果を随時指導し、お示したのが、
0:32:04	262 ページ以降となります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:10	262 ページには、4 分の 1 スケールの実験の再現解析結果から、降伏モーメント到達時の鋼管杭の応力状態について、図 3-7 に示しております。
0:32:23	交換 4 枚を鳥瞰図で描いております。
0:32:29	今回につきましては引っ張りが正になります。
0:32:33	最高方向手前、引っ張り側広く引っ張りが広く、引張領域となっております。
0:32:40	最大値は 394 ニュートンパー平方ミリ。
0:32:45	と、交付強度、360 ニュートンパー平方ミリを超え、降伏をしております。
0:32:52	降伏範囲を図 3-8 にお示しておりますが、
0:32:55	降伏モーメント到達時には、災害管の一部のみ降伏し、内側の間は降伏に至っていないことから、
0:33:02	すいません 1 ページ戻っていただいた図 3-6 に示す、降伏モーメント到達時の杭の状態とシマシマといたしましては、概ね弾性状態であり、
0:33:12	最大荷重に対して余裕を持った状態であることが確認できました。
0:33:18	また、コンクリートの応力状態につきましても、数ページ、264 ページをお願いしております。お願いします。
0:33:28	図 3-9 に、コンクリートの応力状態をお示しております。
0:33:33	こちらの応力状態につきましても、降伏に至っていないことを確認して、確認しております。
0:33:39	その旨の記載を、
0:33:41	262 ページの下から、
0:33:43	2 段落目に記載をしておりますが、こちらの記載につきまして、一軸圧縮強度との比較で、記載をさせていただきますが、先ほど申し上げましたように、降伏に至っていないとの記載に改めさせていただきたいと思っておりますので、
0:33:57	次回、修正させていただきます。申し訳ございませんでした。
0:34:02	通し番号 268 ページから 270 ページにかけましては、実物大スケールの解析結果から、杭とコンクリートの力状態を記載しております。
0:34:13	結果といたしましては、再現解析と同様の結果となっております。
0:34:19	また、再時、実構造物スケールの解析につきましては、
0:34:23	解析におけます全塑性モーメントの到達時の応力状態について、ページ番号 271 から 272 ページに記載をしております。
0:34:34	全塑性モーメント到達におきましては、すべて杭すべての杭におきまして、降伏をしております、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:41	杭が全断面で降伏した状態となっていることが確認できました。
0:34:47	降伏モーメント到達時は概ね弾性だったことを踏まえ、
0:34:51	弾性状態だったことを踏まえた中鋼管杭の許容限界といたしまして、降伏モーメントを用いることは妥当と判断した旨を、271 ページの最後の段落に記載をしています。
0:35:03	通し番号 273 ページをお願いいたします。
0:35:08	結論の確認事項といたしまして、三つ目のaポツとなりますが、交換能力状態について確認をした事項を追記しております。
0:35:20	通し番号 277 ページをお願いいたします。
0:35:25	参考資料 2 といたしまして改良地盤 4 及び改良地盤後の物性値の設定方法についてお示しをしております。
0:35:34	次のページをお願いいたします。
0:35:37	図に示しており、おります、改良地盤 4 及びかよ、改良地盤後の物性値のうち、引っ張り強度及び残留強度、
0:35:45	は、室内試験結果を踏まえて設定しております。
0:35:49	次のページをお願いいたします。
0:35:53	試験方法といたしましては、表にお示ししているカツレツ引張試験及び 3 軸圧縮試験を実施しております。
0:36:01	283 ページをお願いいたします。
0:36:07	試験結果を踏まえた残留強度及び引張強度の物性値を示しております。
0:36:14	改良地盤後の粘着力につきましては、保守的に、
0:36:18	言いました改良地盤 4 及び改良地盤後の燃料粘着力につきましては保守的に 0 とすることといたしました。
0:36:25	なお、本文中のAポツ、a. 残留強度の 2 行目に、保守的に粘着力 0。
0:36:32	とする旨の記載をしておりますが、0 の記載が抜けておりました。申し訳ございませんでした。
0:36:39	こちらの地盤改良 4 及び地盤改良後の物性値につきましては、今後、地盤の支持性能の資料に、追記をして参りたいと思っております。
0:36:51	ご説明は以上となります。
0:37:00	中国電力清水です。はい。それでは資料番号一番の回答整理表につきましてご説明させていただきます。
0:37:08	まず 1 ページ目、こちらの設置許可からの申し送り事項となっております。
0:37:15	まず 1 行目、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:17	ナンバーで言いますと設計申し送り事項ナンバー107 となっております、内容としましては、
0:37:23	多重交換群式を駅及び逆T擁壁の海側に分布する施設護岸、こちら耐震性のないものとなっておりますので、その影響について、結果、確認した結果を説明するとしております。
0:37:35	コメントとしましてはこのページの一番下の方の、
0:37:39	114 番ですね、これとの関係に関連になります。
0:37:45	回答場所としましては、4 番の資料の通しページ 182 ページから 180、190 ページ。
0:37:53	項目で言いますと、
0:37:57	4 ポツ 1 ポツ 12 の施設護岸の不確かさケースの確認ということで記載をさせていただきます。
0:38:06	それでは続けさせていただきますと、
0:38:12	申し送り事項ナンバー111 について、今回、回答というのが一つございます。内容としましては、多重交換の
0:38:22	鉱区モーメントの設定等、
0:38:25	それから許容限界の設定についてということでございまして、A4 判の資料の中で、241 ページから、
0:38:36	参考資料 1 として掲載しているものになってございます。
0:38:51	内容については割愛させていただきます。
0:38:54	続きまして、2 ページの方、資料番号一番、2 ページの方ご覧ください。
0:39:02	こちら、申し送りが増えから 2 行目で、申し送り事項ナンバー117 について、被覆コンクリート壁につきまして、3 次元静的FEMを実施しその結果を説明するという事。
0:39:15	申し送り事項になっております。
0:39:18	資料版説明場所につきましては、資料番号 4 番の通しページ 112。
0:39:35	この解析モデル及び諸元についての説明、それから、106 ページ 191 ページ。
0:39:42	この
0:39:45	3 次元構造解析結果として形記載をさせていただきます。説明は先ほどの通りでございます。
0:39:53	申し送り事項に関する今回回答としては以上になります。
0:39:57	続きまして、資料 1 の 5 ページをお願いいたします。
0:40:05	No.10 でございますけれども、こちら、施設護岸の解析モデル上の取り扱いということでございまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:13	解析ケースとして整理いたしましたということで、あと資料 4 番の通しページ 29 ページを、
0:40:21	ご覧ください。
0:40:29	解析ケースとして、ケース④として、施設護岸等の損傷を考慮した解析ケースというのを、今回追加してございます。また、通しページ 88 ページに、
0:40:45	おきましては、施設護岸、STACYフクイしす停止等の
0:40:50	解析モデルにおける取り扱い、
0:40:53	それから目木曾STACYを貫通するように鋼管杭が設置されている箇所につきまして、基礎STACYの物性について、
0:41:03	解析を物性値として、埋め戻しと粘性等に対応する旨をこちら記載してございます。
0:41:10	6 ページをお願いします。
0:41:14	No.15 でございますけれども、
0:41:20	多重交換儀式溶液の被覆コンクリートの地震応答解析上のモデル化、評価方法ということでコメントを受けてございますけれども、
0:41:28	また資料番号 4 番の方で、
0:41:32	と。
0:41:34	通しページ 27 ページですね。
0:41:47	3.2. 2 施設というところで
0:41:50	皮膚コンクリート壁につきましてはモデル化を行わず、重量を考慮するというので記載しております。また 132 から、
0:42:00	134 ページ。
0:42:11	におきまして 3 次元構造解析におけるモデル化の考え方を記載をし、あと評価方法について記載をしてございます。
0:42:24	続きまして、25 番ですね。
0:42:27	資料 1、6 ページのコメントナンバー25。
0:42:31	こちらは先ほどご説明の通りでございます。参考資料 1、多重交換の協議会についてのご説明で、
0:42:39	続いて 7 ページを見ていただきまして、
0:42:43	37 番。
0:42:46	伊佐礫層埋戻度に関してのせん断弾性係数比の解析物性値に関する件、影響の検討としまして、
0:42:54	資料番号 4 番の
0:42:56	231

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:59	お願いいたします。
0:43:15	こちら、多重交換ゴイシキ擁壁の不整地に関する影響検討としまして砂れき層及び年制度について先ほどご説明したところになります。
0:43:33	続きまして資料番号 1、コメントNo. 38。
0:43:39	につきまして、粘性度の主粘着力に関する検討につきましても、
0:43:44	同様の箇所についてご説明をさせていただきます。
0:43:52	7 ページ、続きまして、3、コメントナンバー39 番でございますが、こちら も施設護岸の影響を検討として不確かさケースを追加するということ で、
0:44:05	通しページ 88 ページの方へ記載をさせていただきます。
0:44:08	先ほど触れましたので、割愛させていただきます。
0:44:12	最後、資料番号 8、
0:44:14	資料番号一番の 8 ページをお願いします。
0:44:20	ナンバー42、解析用物性値、
0:44:24	改良地盤が破壊した場合の強度設定の考え方。
0:44:28	に関するご説明としまして、
0:44:32	資料番号 4 番に 177 ページから、
0:44:39	参考資料 2 として、記載させていただきます。説明は先ほどの通りでござい ます。
0:44:46	最後に、コメント、資料番号 1、コメントナンバー43 のSTACYの解析用 物性値の設定についてということでございまして、
0:44:58	こちらにつきましても先ほど触れましたが、資料番号 4 の 88 ページに おいて記載をさせていただきます。
0:45:05	関谷氏になりました説明以上になります。
0:45:09	はい、規制庁チギラです。
0:45:12	それでは、衛藤、今説明していただいたのは④の資料で補足説明資料 今回新たに整理しましたと、ということと、
0:45:22	これまでのヒアリングであったりとか、許可時の申し送り事項、そのあた りも踏まえて
0:45:31	④の中に整理してきましたと、最後に清水さんの方から④のこれまでの コメントとか申し送り事項との対応のところを説明していただいたと。
0:45:43	いうことでした。はい。
0:45:46	こちらからそうしたらあれですかね、当間コメント事っていうよりは、ち よつと、
0:45:55	それぞれ真木、今回丸様の資料で説明を聞いて気になった点、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:02	ていうのをですねちょっと確認していきたいと、いうふうに、そういった流れでいきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。
0:46:10	では確認する点がある方、お願ひいたします。
0:46:33	規制庁のオオハシです。
0:46:35	資料④の通し番号 107 ページなんですが、
0:46:40	107 ページの一番下が 9 イトウ連結材の許容限界があつて、
0:46:46	これはSKK490 で、短期許容力度を許容限界とするという。
0:46:52	ゴトウになつてゐるんですが、
0:46:56	国と連携材のモデル化が 83 ページにあつて、これ非線形ばね要素を使うということ。
0:47:04	なつてて、
0:47:06	短期許容力度を使うつていうのと、
0:47:09	その変形材料を使うつていうのが、
0:47:14	ちょっと分、
0:47:15	赤合わなないなという感じがするんですが、
0:47:19	これ鋼管杭そのものが線形部材なので、
0:47:25	連携材も線形でいいような感じがするんですけどもこの非線形にしている。
0:47:31	理由はどういふものを見たかつたということですか。お願ひします。
0:47:37	はい。中学年の差です。はい。今おつしゃつた通りでございまして今回こちら基本線形範囲内で評価するといふところでございまして、
0:47:46	ご指摘の線形まで問題はないといふところであつたんですけども一応です、今、鋼材を対象としているといふところで、
0:47:56	念のため降伏するところで、
0:47:59	頭打ちするよふな理念を設定しているといふところで、実際はですね、調査オチ見ていただく通り、十分先見は収まつておりました、
0:48:08	結果としては線形まででもよかつたといふところですけども、一応念のためといふところで、設定されます。
0:48:38	はい。10 分イソダです。
0:48:41	はい。今、ですね先ほど
0:48:45	教えていただきました線形版、線形評価するに對して非線形までと少し
0:48:50	フタミ見ると誤解を招くちよつと表になつてゐると思つたので、ちよつとこちら、その結果も踏まえましてこちら線形ばりで使つてるといふ記載にさせていただきたいと思つた。
0:49:02	以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:10	はい。
0:49:12	なるほど。
0:49:22	はい。中国電力清水です。はい。承知いたしました実際、
0:49:27	この肺胞力範囲としては、そう、そうであるということモデル化の
0:49:32	82 ページの方に、そのように記載したいと思います。
0:49:37	以上です。
0:49:39	規制庁大橋です。ありがとうございます。
0:49:42	別件として 259 ページに、前回私がコメントした、中詰めコンクリートと交換の
0:49:53	直暴力状況について説明ということで、
0:49:57	259 ページからトレの回答ということでいい、いいですか。
0:50:04	中国電力清水です。はい。こちらの 2 段落目 3 段落目につきまして、
0:50:10	はい強化予想の水平方向と、あと、その 3 段落目の方に、
0:50:17	要素の鉛直方向についてということで書いておりましたこちら回答としてさせていただきます。はい。規制庁大橋です。
0:50:25	確認したかったのは、
0:50:28	熊ここでは水平方向って書いてますけど、
0:50:31	コンクリートと、
0:50:33	て通構台の直方向が、
0:50:38	引っ張り側に転じたときに、せん断方向の扱いをどうしてるかっていうのを確認したかったんですけども。
0:50:45	引張が発生したらすぐにせん断方向の付着が切れるんじゃなくて、
0:50:51	ある程度、
0:50:53	引っ張りの方向が働いてても、せん断方向は、付着抵抗を考慮するというので、
0:51:01	理解しました。
0:51:02	これがどこまで直方向で引っ張りが、
0:51:07	働いても、せん断方向で付着強度まで見れるかっていうのは、もう一つ、一つテーマがあるとは思いますが、これは設計で用いているというよりは実験の話なので、
0:51:20	それについては、
0:51:21	今回はこういうシミュレーションをしたということで、理解してます。以上です。
0:51:39	規制庁の谷内です。
0:51:42	ちょっと私の方からは若干、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:46	あるんですけど、
0:51:49	今C副コンクリートこれもお前のとこ時にもちょっと話題に挙がってたんですけど、
0:51:57	フィックコンクリー等は、止水目地のCG機能だと。
0:52:03	というのが、目標としていると。
0:52:06	指示機能としての役割を考えた中で評価項目の中で、
0:52:12	応力を評価するっていう形でやってるんですけども、
0:52:16	これ 13 ページから 19 ページのところを書いてるんですけど、
0:52:20	被覆コンクリートは、解析上はモデル化には入れてないけれども、
0:52:25	実際の評価上は、
0:52:29	躯体の断面の応力まで評価するんですか。
0:52:38	はい、中国電力伊佐です。はい。今、おっしゃるまず二次元解析におきましては、基本鋼管杭のものを評価するという観点。そして、
0:52:50	杭とコンクリートの剛性というところというところを考えまして重量というところについてまず合格の共同確認をしております。
0:52:58	そして、A-コンクリートの評価につきましてはその共同を使いまして 3次元解析で評価するというところでやっております。以上です。
0:53:10	はい。ちょっと菅イメージ的に言うと、
0:53:15	被覆コンクリートワー明示を指示するだけだっって書いてある。そういうのを目標としてるって書いてあるんだけど、
0:53:23	実態として、この中に入ってる鋼管杭と、
0:53:28	フィックコンクリートが肌分かれするっていうのはありえないんですか。
0:53:33	一体として動くんですか。その辺がちょっと私も感覚的にちょっと。
0:53:39	よくわからないんだけど。
0:53:44	はい。中国電力の伊佐です。はい。今回ここですね、
0:53:50	8 ページの方を少し見ていただけたらと思います。④の 8 ページは 08 ページでございますすいません。
0:54:01	こちらは 1 ページの方にですね
0:54:04	#NAME?
0:54:07	構造図というところを設定させていただいております、比較的是上の部分となっております。10 億ですね。
0:54:15	基本杭の
0:54:18	を巻き込むように無ぐるっと一コム口が打設されていること、また、複数の区域の、
0:54:23	巻き込んで打設するというところを踏まえまして、そういったところ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:27	検査というようなところ、そういうことは生じないのかなというふうに考えております。以上です。
0:54:34	ちょっとその辺がね、特に彦コンクリートフジイ 6.6メートルの高さのーコンクリート駅のあるところについて、
0:54:44	実際の断面についてどういうふうに背景がなってるのか。要は、例えば鋼管杭等、フィックコンクリートの間に何かこう、
0:54:57	付着腔がとれるような何かアンカーを入れるとかそういうものは考えてないということでもいいんですか。
0:55:07	はい。中国電力の伊佐です。今言われた例えば事例とかそういったような話ですよね。はい。江藤。こちらの方にはそういったものがあり、こついております。
0:55:18	切れない。その辺がわかるような断面をきっちりここに書いておいて欲しいんですよね。
0:55:27	縦方向にこういう配筋をしませんな補助金配って入れますって書いてあるんだけど、せん断補強金がどうしているのかよくわからないけど、
0:55:36	今例えば、断面方向についても、鋼管杭があつて、その周りに付着のコンクリートが、これは 20 センチぐらいあるのかな。そういうイメージのところに対して、
0:55:49	今、Gmailとかは入れてない。
0:55:53	わけですよそういうものがちゃんとわかるような形で、
0:55:57	考えて、記載をしておいていただきたいんですがいかがでしょうか。はい。中国電力吉住でございます。今の 9 ページには、
0:56:08	展開図と、放線直行方向の断面をちょっとお示してるんですけども、水平入ったようなもので杭とその配筋、
0:56:18	こういう入ってないところには、千田沖入れたりとかしているようなちょっとそういったのがわかりづらい今、になってますので、ちょっとそこがわかるような図面と追加して、どういった構造になっているかを文章も含めて、追記の方さしていただけたらと思います。特にバブリー
0:56:34	との関係はどうなってんのかちょっとわからないので、ぜひ入れていただければと思います。
0:56:40	それから、
0:56:43	うん。
0:56:45	175
0:56:48	戸次目のところに、
0:57:02	止水目地能

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:07	維持、末子するというのが目的という形になってて、
0:57:11	今ここで止水目地の変形変位量 175 ページ目を書いてあるんですけど、
0:57:18	これー、
0:57:19	②断面と⑦駄目支持目地の変位を書いていますけど、
0:57:25	相当定量のイメージが違ってて、
0:57:32	②断面は 38 センチ。
0:57:35	それからー。
0:57:37	衛藤菜⑦断面は 1 センチしか変位量がないっていうような状況ですけど、
0:57:42	これはこんなに違ってるのは何、何が理由ですか。
0:57:52	うん。そうすると今じゃこっち方向はこれだけ変形するっていうことになるわけですよ。そうすると、
0:57:58	これを、この 38 センチもの変位量に対して、
0:58:05	今の断面Dし、
0:58:08	事例でも何名じゃなくて、きっちり
0:58:14	クリアできてるっていう、いう判断になるんですね。
0:58:19	中国電力清水です。1 点目の変位の関係につきましては、74 ページを見ていただきまして、
0:58:32	すいません、72 ページでございました。
0:58:36	はい。すいません。2 断面、
0:58:39	の、解析モデル図が上の方に書いてございます。72 ページ。はい。はい。申し訳ありません。はい。
0:58:47	こちらの中央に、クロック地表面にぴっと飛び出しているところこちらに防波壁がございしますが、1 列で杭が
0:58:57	5 番の法線方向に延長さしているということで
0:59:01	久慈幸子起きたときに 1 本ものとなってございます。
0:59:04	一方で、75 ページを
0:59:08	ご覧いただきますと、
0:59:10	こちら 7 断面の解析モデル図となってございます。こちら強軸方向の断面となってございましてそちらの方には杭が複数本あるということでそういったことで変位が、
0:59:23	抑えられているのがまず 1 点目でございます。
0:59:26	それから、変位の、すみません、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:30	シベールとの関係が少しわかりづらかったのもう少しご教授いただければと思うんですが、
0:59:35	結局、こういう時べろ 38 センチもの変形があったときに、要は、
0:59:43	被覆コンクリートと鋼管ぐいとか一体化してなくても、一体化してクニシタダウチlevelとか入れていただくというようなことをしてなくても、
0:59:54	肌分かれっていうか
0:59:57	等、鋼管杭と躯体とが一体化して挙動してるっていうのは、今はどれ、どれで判断してるって形になりますか。
1:00:12	となって、6 款のソウダ
1:00:18	時間
1:00:29	はい。
1:00:36	はい。中国電力ヨシツグでございます。これ杭の、
1:00:40	下端から衛藤これが 20 何メートルの杭でございますけどその天端として 38 センチぐらい出ると。はい。ですので変形として非常にわずかでございまして、ツクイ自体も 2.4 メーターの
1:00:56	杭でございますので、そんなに大きな変形は出ていないのではないかと は思っております。で、
1:01:02	先ほど言いました、これはあくまでもフラスパンのブロックの変形を杭の一本として考えた時の変形量として見ておりまして、止水ジョイントとしましては
1:01:12	隣り合うも取り合うアノブロックは、保守的に反対側に動くと、7 段目については明治が開く方向に開くということで止水ジョイントの目地材としての動く量というものを 見て評価をさせていただいております。以上です。
1:01:32	はい、わかりました。
1:01:34	どういう形で作ってるか、わかりましたので。了解しました。
1:01:58	はい。16 年度伊佐です。はい。
1:02:01	はい。ちょっとですね今こちらの変位につきまして、どこから取っているかというところの、昔はい。
1:02:09	きちんとあるところというのを少し明記させていただきました。誤解がないような記載とさせていただきたいと思 います。
1:02:27	はい。
1:02:36	はい。中国の磯ですはい。承知いたしました衛藤、フクイとセイキの間、
1:02:42	このところの範囲での相馬相対変位というところを少し確認を
1:02:55	何ていうか、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:58	基本的にその解析的には同じ子接続点で動くというような解析を当然してるわけだけでも、
1:03:06	構造体として、要は今、鋼管杭等、今付着で入れてる、コンクリート引き、それから、その外側、
1:03:17	それ、それで延長してショールームつくもんな同じような形になると思うんだけど、そういうものが本当に一体一体として挙動しているのかを解析上は一体として評価してるんだけど、
1:03:30	両両者がきっちりと、今みたいな、
1:03:36	微小の変形ならば対するかもしれないんですけど、今みたいな変形私は沖割と大きいなと思った感じもあったので、
1:03:46	そういう形で一体化してちゃんと挙動する、しているような構造体として、
1:03:52	設計されてるのかっていうことがちょっと、非常に不安になったので、きっちりその構造体は、鋼管ぐりと、
1:04:03	Fコンクリートが一体一体として挙動しないと、構造体として健全健全じゃなく、ないんじゃないか、離れてしまう、そんなことはないのかもしれないんだけど、
1:04:16	そういう検討がされてるのかなと思ったんでちょっと聞いたんですけど。
1:05:06	というのは、
1:05:25	別途、それぐらいは、
1:05:33	そうですね。
1:05:36	はい。中国電力の吉富でございます。
1:05:41	理解いたしました。まずは、三浦さんからもありました通り被服こん自体として、どういうずれ方、変更している方をしているのかと。それが杭にちゃんと追隨してるのかどうかっていうところが、
1:05:55	ポイントだと思いました。で、あと
1:05:58	藤タニグチさんからヤマシタに配筋としてですね、外がぐるりと廃棄しておりまして、杭の隙間があるところにも、せん断を受け入れたりとかして一体化、土木としては、一体化という位置付けのものがございますので、
1:06:13	そういったところがちょっと今図面も含めましてちょっと足りてないなというふうに認識しましたので、少しモデル化のところも含めて、地域の方さしていただけたらと思います。以上です。はい。よろしくお願ひします。基本的に解析はできるんだけど、実際解析で想定してるものが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:30	本当の構造物で、そういうふう想定するようなものになってるのかっていうのが、きっちりわかるような形にしておいていただければと思います。よろしくをお願いします。
1:06:43	国分さん。伊勢社長の服部です。
1:06:50	はい。結構、土木でもスタート打つこともあるんですけど、ちょっと多分ちょっと 115 ページで 1 点だけ確認したいんですけど 115 ページとか 114 ページ。
1:06:59	このモデル化において、この被覆コンクリートの中には、
1:07:04	鋼管杭が入ってる、今見えないんですけど、入ってるというふうな、
1:07:10	というような理解でよろしいですかどうぞ。
1:07:14	中国電力清水ですはい。おっしゃられる通り今はちょっと見えてませんが中の方に交換も入ってございます。
1:07:27	はい。中国電力吉見です。再内管のものだけが上がっているようになってます。ですので、ちょっと
1:07:35	下で今見えてる杭が接するぐらいになっておりますけど上の方でいくと、間が隙間が 80 センチぐらいあるような、構造なってますんでそこで、そこを配筋したりとかしているというものでございます。これが
1:07:49	今のモデル全体だとわからないので、
1:07:52	例えば被覆を除いた杭だけをモデルしたものを図面につけるとか、ちょっと工夫してその辺がわかるようにしたいと思います。以上です。
1:08:01	規制庁の服部ですはい。で、
1:08:04	多分そうだろうなと思っていて、中は一重感が、この皮膚コンクリートの中に飲み込んだようなモデル化になってるとのことなんですよね。
1:08:11	設計するときって例えばもうこの一重管と皮膚コンクリートが全く剥離しませんとか、もう一体化ですという前提で割り切って設計するときには、例えば自分なんか売って、
1:08:25	割り切ってレベルってあるからもう絶対剥離しないです滑らないんですみたいなことを設計することが一般設計としてはよくあって、それが打ってないんであれば例えばジョイント要素を入れて、
1:08:36	とある、剥離が起こったら剥がれるとかそういうことも可能とし、考え方としては可能なんでしょうけど、
1:08:44	そこら辺の話を今してたんだと思いますので、
1:08:50	例えばこれ剥離するとしても、今言った 38 センチとかいうのは、ブロック間の相対変位であって、その一つのブロックの中のねじりとか、その
1:09:02	辺、偏心みたいなものによる変位による、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:06	まあまあ生じないと仮定すればですよ。
1:09:09	剥離もそんな起きないだろうし、ということだと思いますので、
1:09:13	そこら辺の話かなとちょっと私は今思っていました。
1:09:18	だから
1:09:20	感覚的には時ベルが打ってあってもいいのかなとは思いますが、売ってないということなので、それはそこら辺でうまく説明していただければと思いますが、そういう理解なんです、よし。
1:09:31	私の理解は正しいんですかねどうぞ。はい。中国電力ヨシツグです。今おっしゃられる通りで、
1:09:39	一体化はかるときに、事例打つ場合もちろんございますし、どういった位置でっていうのもありますので、その通りだと思っております。はい。で、おっしゃられた通り、
1:09:49	実際今、ねじり等をやっておりますのは、基本、
1:09:57	構造物上の影響というよりは下の地盤のは、特に
1:10:02	地盤ばねの設定としてどういったバラツ地盤のばらつきで、杭の中変形をしているのかっていうのを今ねじりとして入れるような評価の仕方しております。それ自体でいくと、その結果、その時は結果次第ではあるんですけど結果としてはそんな大きな握りというものではなくて一体的な挙動をしているような、
1:10:20	構造物でございます。その時も、
1:10:22	江藤、ちょっとまた後で三次元のところになりますけれども、
1:10:26	プラスワンシグマ前ーワンシグマで大きく変形、地盤のばらつきの応答値を変えたり品を変えたりというもので、握りの方を入れておりますけれども、照査値としてはそんなに大きなものが出てきてないということは、
1:10:41	ほとんど一体的な挙動としているものを、杭を連続で打ってますので一体的な共同しているのかなとは思っております。その辺りもちょっと含めまして、
1:10:50	我々のそのモデル化の考え方っていうところを少し、地域の方さしていただけたらと思います。以上です。規制庁の服部です。多分飲み込んでる家具等コンクリートの、
1:11:03	そう、剥離みたいなそういうところを気にしてるんだと思いますのでそこら辺をうまく説明すればいい、理解ができると思いますのでそこら辺をうまく説明していただければと思います。
1:11:12	今の点について私から以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:17	規制庁の服部です私から何点かちょっと細かい点がたくさんあるんですが、
1:11:22	確認をさせていただきます。
1:11:30	ちょっとまずすみませんちょっと今回の資料の説明はなかったんですけど、添付の方の②の資料、
1:11:40	6ページをお願いします。
1:11:46	ここのフローの中で、重畳時の評価に用いる地震時動圧と慣性力及び接地圧というのがあるんですけども、
1:11:54	この重畳Gの評価に用いるという、
1:11:58	過剰については、今回どのような使われ方をしてるんでしょうか。
1:12:07	はい。中国電力の伊佐です。はい。こちら重畳時と申しますのは今回の島根原子力発電所で言いますと、
1:12:13	全前面海域の活断層に、いろいろ地震動等その津波というところになります。で、この地震応答計算書でいきますとSDの地震の、
1:12:24	の、
1:12:26	を使いますので末吉ですね、
1:12:30	こちらの方に資料に記載しております。
1:12:36	規制庁の服部ですはい。余震時の話をしてるということでもいいんですかね。
1:12:44	はい、中央でごめんなさい。その通りでございます。
1:12:47	規制庁のハツリですはいわかりました。
1:12:50	あと47ページをお願いします。
1:12:56	添付の4、②の47ページです。
1:13:00	この添付資料の中で、
1:13:03	す。
1:13:05	8ページのところでですね今回④断面を選定してるんですよ。
1:13:13	この④断面をこの資料の中で選定してるにもかかわらず、この47ページ以降この解析モデル等を示されていないというのは何か理由があるんでしょうかどうぞ。
1:13:25	中国電力の清水です。はい。まずそのご質問に対しましてですけども、こちら断面選定をした上で、評価をするということですけども、もちろんご説明するというので、今回の補足説明資料には入れさせていただきました。
1:13:41	一方でこの耐震計算書の方に、
1:13:44	つきましては

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:46	代表的なものを記載するというのでちょっと記載をしていたんですけども、えっとですね資料、
1:13:55	3 番の方の、
1:13:56	表紙にも書かせていただいているんですけども、
1:14:00	本資料 6 回補正申請版ではございますけれども補足説明資料の方で、今おっしゃっていただいたような④断面ですとかそういったところをお伝えしておりますので、今後、
1:14:12	記載を適正化ということで追記をさせていただこうと考えております。で、本日のこの
1:14:18	添付資料、資料番号の 2 番 3 番におきまして、本来、追加するべきところであったんですけども、
1:14:28	ちょっとそちらの方ができておりませんで次回のこの多重鋼管杭式を駅の
1:14:33	補足説明の、ご説明の際に、反映をしてお説明したいと思っております。
1:14:41	規制庁の服部ですはい。今の話だと、②の資料にもきちっと④断面がそこで選定されているので、丸 4 段目についてもきちんと記載をするということで理解をしたんですがそれでよろしいでしょうか。どうぞ。
1:14:55	中国電力清水です。はい。おっしゃられる通りでございます。
1:15:00	規制庁のハツリですはいわかりました
1:15:03	今回添付と補足とあって、丸さんの資料は、一番表紙のところに、
1:15:11	まだきちっと適正化されてませんよみたいなのがあって、②の資料にはそれがなかったので、こっちはもうきちっと最終版なのかなと思ったのでちょっと確認をしたんですが、まだこっちも最終版じゃないという理解でよろしいでしょうか。どうぞ。
1:15:25	中国電力清水です。はい。すいませんこちら②の資料の方にも記載すべきところを漏れておりまして大変失礼いたしました。
1:15:35	規制庁のハツリですはいわかりましたそれは④の資料お願いします。
1:15:39	最初の方からいきますけれども、まず 8 ページをお願いします。
1:15:45	今回多重交換群式擁壁の中には、
1:15:50	40 巻のところ等 30 間の区間もあるというふうに前回聞いたんですけども、それで間違いないでしょうかどうぞ。
1:16:00	はい、中国でございますはい。
1:16:02	細野通りでございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:04	規制庁の服部です。それであれば、ここに今 8 ページのところにはもう 40 巻しか書いてないので、
1:16:13	基本的にはどこの区間が 40 間でどこの区間が 30 間で、
1:16:18	30 間はどういう構造になってるかというのも、補足なので、非説明が必要ではないかと思うんですがいかがでしょうかどうぞ。
1:16:26	はい。中国電力さんですはい。今秦様、おっしゃった通りでございます。
1:16:30	とですねちょっと今回こちらの頭の方につきましては基本的な形というところでちょっと、
1:16:36	行かせていただきましてで、後半の方ですね各断面評価しておりますがその時にですね、
1:16:43	江藤、どういう構造ときちんとわかるようなものっていうのをちょっとつけさせていただけたらと思います。申しわけませんちょっとそちら、図面の方が抜けていたというところでございます失礼いたしました。
1:16:55	規制庁の服部です。はい、わかりました。
1:16:59	次、
1:17:05	13 ページお願いします。
1:17:07	これは確認なんですけど、
1:17:12	例えば改良地盤 05、
1:17:14	この役割を期待しないって書いていて、解析モデルに反映し防波壁の相互作用を考慮するって書いてるんですけど。
1:17:25	例えば、
1:17:26	改良には⑤について、
1:17:30	解析モデルに反映して、
1:17:33	そこに地盤改良体の剛性を入れたりすると。
1:17:38	結果的に、
1:17:40	改良地盤④のように、
1:17:42	鋼管杭の変形を抑制する役割が、
1:17:47	期待されてしまってるんじゃないかなと思ったんですけど。
1:17:51	この、
1:17:52	役割に期待しないけれども解析モデルに反映してどうのこうのっていうこころ辺の記載が少しわかりにくかったんですが、
1:17:59	これはどういう意味なんでしょうかどうぞ。
1:18:02	はい。中国電力の伊佐です。
1:18:04	こちら回路上⑤というのは防波壁鋼管杭の背面に設置する水位改良地盤となります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:12	大体、
1:18:13	モデル上でいきます今回、磯に予想程度の薄いような回路市場となっております。
1:18:19	でございますので、今回、津波時の方も同様に、
1:18:25	降下物来てFLIPで評価をしたいと思って考えております。
1:18:29	ですので、地震と津波時ってのは同じですいません。会場⑤は津波では考慮する。
1:18:36	というところを考慮しております、地震動津波できるだけ同じモデルが良いかと考えております、基本はカルチャー⑤を入れたモデルにしたいと思っております。
1:18:46	そして、実際物としてですね、薄非常に薄い改良地盤になりますので、
1:18:52	そうした動圧軽減というところにあまり寄与はしていないんじゃないかなというふうにすいません考えております。以上です。
1:19:01	規制庁の服部です。そ、
1:19:05	言いたいことはよくわかるし、気持ちはわかるんですけど、
1:19:08	結局大瀬を入れちゃうと、
1:19:11	役割に期待しないと言いつつ、
1:19:14	その剛性があることによって、
1:19:18	その影響度、
1:19:20	の大小は置いといて、
1:19:24	何らかの役割が、
1:19:27	期待されてしまってるというか、考慮されてしまってるような気もしてて、
1:19:32	そこら辺、例えばそこは剛性わあ、
1:19:37	埋め戻しの剛性入れますと、ただ、液状化しませんみたいな、そういう話も、やり方としてはあると思うんですけどそこは剛性入れてるんですね。甲斐一番解体の剛性を、
1:19:48	はい中国MSSはい、ご理解の上でございます。
1:19:54	規制庁のハツリですはいわかりました言いたいことは、
1:19:59	何となくわかりますのでちょっとそこは情報しようかなと思います。はい。ちょっと何と、そうですね。
1:20:09	はい、わかりました。はい。ちょっとそこら辺がちょっとこう読んでてうんと思ったのでは、ちょっと気になったので確認しました。吉住です。説明は今の通りなんですけど。はい。
1:20:21	ちょっと記載としてですね、やはり

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:25	服部さんおっしゃられる通りのところもありますのでちょっと記載の書きぶりをちょっと工夫を含めて考えさせていただけたらと思います。以上です。
1:20:35	規制庁の八田ですはい。わかりました。ちょっとそうですね。あその括弧のところを読んでいてうんと思ったんで、記載が、そこら辺がうまく説明できるのであれば、適正化をしていただければと思います。
1:20:47	では 19 ページお願いします。
1:20:50	先ほど 0101 断面については、許可の時に最も厳しい断面として選定されていたので、参考として、
1:21:02	選定するという話があったんですけども、ちょっと確認なんですけれども、
1:21:08	①と②の違いは、改良地盤 4 があるかどうかの違いが一つあるのと、あとは深さですね、背面で上の深さ
1:21:20	D、
1:21:21	改良地盤②断面で改良地盤④がなければ、当然②の方が①よりも、クリティカルになるっていうのは誰が見てもメーカー明白なんですけど、
1:21:33	改良地盤④があることによって、逆に浅くてもう①の方が厳しくなるんじゃないかという、そういう考えも生まれてくると思うんですけども、
1:21:46	結果的に今回①もやっていて②よりも、照査値が小さかったということだんでしょうけどそれ結果論なので、
1:21:55	例えば選定理由のところ
1:21:59	ちょっとこれちょっとよくわからないんですけど、要するに、
1:22:04	何だろう、改良時は④の上、上までの深さもう②の方が深ければ、当然④-2の方が厳しくなると思うんですけど、
1:22:16	ちょっとこの①断面を、除外する理由として、
1:22:27	管理部案④を無視して、深井だ。早めの深さがあるだけという選定理由だけだと、今みたいな。
1:22:36	もしかするってというか、形が出てくるので、
1:22:40	そういうのがあって丸 1 段目もやっているとことにはなってしまうんですけど、もう少しそこら辺の選定理由にそこら辺も含めて、
1:22:48	補強していただくってことができますかどうぞ。
1:22:52	はい。中国電力ヨシツグでございます。
1:22:56	22 ページに 1、①と②のそれぞれの断面をしております今、
1:23:03	館野おっしゃられた、今④から上から考えると 9 位、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:09	としては、空調の上の部分短いんじゃないかっていうご趣旨だと思っておりますんで、
1:23:16	我々、もちろんそういったところもあるんですけどもアノは、背面側の方の砂れき層の方を改良地盤 04 で固めておりませんので、
1:23:27	やはり反対側、向きから海側からの荷重としては、相変わらず岩盤のところかネモトになるのかなということで、②を選んでおりますが、
1:23:39	ただ、おっしゃられる通り、改良地盤④によって、
1:23:43	陸から海に行くときには、空調自体が、そのために改良地盤 04 というのを実施施行等もしておりますので、そういった関係で、①断面についても検討を行ったという趣旨でございますんで、
1:23:57	ちょっとその辺りが、経緯としてはあるんですけど選定理由としては、あっさり書いておりますので、もう少し①を、のついて、
1:24:08	追加の検討してますってところが今あまりこの選定のところには書いておりませんので、それを追記させていただいて、
1:24:17	ちょっと充実させていただけたらと思います。以上です。
1:24:20	規制庁のハツリですはいわかりました。結果論ではあるんですけど例えば②断面の改良中④の天端からEL8.5 までのこの深さですね、あと①断面の、
1:24:35	この岩盤からいえる 8.5 までの深さ、これはほぼ同等であれば、
1:24:41	明らかに背面、砂礫の背面を改良してない②だったり、そちらの方が、
1:24:51	おそらく厳しくなるだろうというのも一つ考えられるので、そこら辺、
1:24:56	も踏まえて、先ほど、
1:24:59	踏まえてもう少しその選定理由のところを補強していただければと思いますがいかがですか。
1:25:04	はい、中国電力ヨシツグでございますちょっと改良地盤からの、
1:25:09	の厚さとかですねそんなのも含めて、もう少し整理したいと思います。
1:25:43	規制庁のハツタです。そうしましたらちょっとちょっと私が気になってるところ 2 点ほど、
1:25:51	確認をします。
1:25:53	何ページだろう。
1:25:58	100 どこで、どこでいけばいいのかな 150。
1:26:02	1 ページお願いします。
1:26:12	ここ照査値として、降伏モーメントである許容限界と比較してるのは、
1:26:22	曲げモーメントだけですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:30	はい中国電力浅井です。はい。最終的調査といたしましては、曲げモーメントと降伏モーメント比、
1:26:36	となります。
1:26:38	今回軸力の方書かせていただいているのがですね、ココムモーメント算出する時にこの塾力っていうのが効いてきまして、これが大きいほど米が下がる、そこまで
1:26:49	感度があるようなものではないんですけどもそういったところで、曲げモーメント軸力というのを、発生断面オクとして記載させていただいております。以上です。
1:26:59	規制庁の服部です。少し気になったのは、
1:27:03	実験は、軸力を作用させないで、水平方向だけの荷重をかけて実験してるんですよ。
1:27:11	でその降伏モーメントを、
1:27:15	IV、同郷の交付モーメントが、
1:27:18	下回るので、より保守的な努力の交付モーメントでやりますという話が後でありますよね。
1:27:26	その時の比較した時の道路構造コメントっていうのは、これは軸力ゼロでやってるってことですかね。
1:27:34	それでそれでよろしいですよ。中国電力清水です。はい。おっしゃられる通り、コメントの方は軸力考慮してやって、算出をしております。
1:27:46	規制庁のハツリですから、実験としては、軸力0で条件を同じにして、
1:27:54	どちらが保守的か。
1:27:56	ということを確認してるということですよ。
1:27:59	それを確認した上で、交付モーメント努力のコメントを使うということにして、
1:28:05	この登録のコメントを求めるときは、
1:28:09	この軸力による影響を、
1:28:13	を軽減させるような形で交付モーメントが求まる。
1:28:18	要するに、
1:28:19	応力でやると、Mは、Z分のMプラスマイナス。
1:28:25	分のnっていうことになるので、軸力による応力って必ずあるわけじゃないですか。
1:28:34	なので、それを考慮しないでやってしまうと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:38	その分が非保守的なことになるので、その分は交付コメントの中に配慮されてるという理解でよろしいですかどうぞ。
1:28:50	中国電力の志水です。はい。まさにおっしゃっていただいた通りでございましてその算出方法につきましては
1:28:57	資料4の246ページ。
1:29:00	をご覧くださいと、
1:29:09	参考資料1の6ページの方になりますけども、こちらに降伏モーメントの算出方法を書いてございます。この式の中に、まさに今おっしゃっていただいたように、軸力が発生した場合はその分減じるような、
1:29:24	形で考慮していて、それが許容限界として、設定して、あとは曲げモーメントと比較するという事で、してございます。以上です。
1:29:33	規制庁の服部です。わかりました。もう1点なんですけれども、152ページをお願いします。
1:29:40	と、これを見る等、
1:29:43	ちょうど被覆コンクリートのカタン
1:29:46	ぐらいで、
1:29:48	曲げモーメントとか軸力とかせん断力が発生している。
1:29:53	153ページも見ていただくとしていると思うんですけど、
1:29:59	これ皮膚コンクリー等の境界部分は、1週間になっているので、
1:30:06	例えばこの1週間のところの評価もう、
1:30:10	しておかない等、
1:30:12	その設計として確認したことにならないのかなと思ったんですがいかがでしょうかどうぞ。
1:30:18	はい。中国電力の磯です。
1:30:21	はい。長谷さんがおっしゃる通りでございます。我々としたしましては今回、こちら記載させていただいてますが、そちらを含めて一番厳しくなっている。
1:30:31	所達というところが、ちょうど岩盤境界のところの40巻というところで記載をさせていただいております。
1:30:39	で、実際、上の1週間であったそういったところにつきましてはそれよりも低い人たちというところをちょっとすいません今回割愛させていただいたというのは、
1:30:47	実情でございます。
1:30:50	はい。ちょっとそちらの方ですね、そういったところをちゃんと確認してるというところわかるように、記載の方させていただけたらと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:59	規制庁のハツリですはいわかりました。断面力を見ると、
1:31:05	檀曲げなんかは 10 分の 1 になってるんで、
1:31:10	おそらくやっても、
1:31:13	そちらの方が厳しくならないかなと思いつつ、ただ、
1:31:17	やっぱりそういう、
1:31:20	ところ、例えばこの間もちょっとどう久野が言ったんですけど、断面が変わってるところは、例えば断面力が小さくても、確認をしていくっていうのが、普通の設計ではやるので、
1:31:30	補足であるので、補足であればそこら辺まできちっと書いていただいた方が、明確になると思いますので、そこら辺を反映していただきたいと思いますがよろしいでしょうか。
1:31:43	はい。15 ページのやつですはい、承知いたしました。
1:31:46	規制庁の服部です私からは以上です。
1:32:01	事実確認だけね。
1:32:03	188 ページで、
1:32:07	ちょっと変形図で、要は施設護岸がある場合って、
1:32:12	いわゆる施設工カガワのところのと、防波壁が製紙用はビーム要素が接してるところって、引っ張り卸してるってか引きずり。
1:32:21	こんでるっていうように見えていて、
1:32:24	これってジョイント要素としてはローテーションなんで、引っ張っていけば離れるはずなんだよね。これせん断の方向とあれとはリンクしての所、なんていうんだらう。
1:32:34	シンクロしてないんだっけ。
1:32:39	基本的に言うとハタ離れしてれば、
1:32:42	また数は切れるので、
1:32:46	そう。それもゼロになるから、逆に言うと地盤だけが全面の地盤だけが沈下していく状態。
1:32:54	んなるような気がするんだけど、
1:32:56	まず疑問別とか見ると、基本的には
1:33:00	うちの調査票にはあんまり変わらないからあまり問題はないんだけど、
1:33:05	現象としてどういう現象になってるのかなと。こういう変形してるってことは、
1:33:11	中国電力清水です。はい。こちら、
1:33:15	当施設護岸のところと海側に倒れていってございましておっしゃられる通り剥離は知っているんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:24	海に越してるクリーニング。
1:33:29	この瞬間のことについて言いますと、
1:33:33	陸側から後半ぐらいをされましても益が、それでこのあたりの5番の放送をしていてこのように見えているということでございまして今おっしゃっていただいたように、
1:33:45	シート、杭の間は非常に頭入っておりまして引っ張り込んだり何かそういったような採用はしないようにしております。
1:34:15	何とか軸力がちょっと大きくなってのしね。みんな若干なんだけどさ。
1:34:19	なんか、多分、5番があるなしで行った時に護岸があるってそんなに設計に影響を及ぼすものじゃないからそんなにシモノ言うつもりはないんだけど、ちょっとね、
1:34:29	今後幹部とか委員に説明する上で逆に言うと、誰が考えても下の方のがない方が厳しいって普通は、
1:34:37	思うはずなんで、なぜこっちの厳しく、厳しいっていかあまり変わらないまたはちょっと若干上回るって話はある程度、
1:34:45	説明しなきゃいけないと思うんだよね次の審査会合までに、それでもう少しこの辺ですね、なぜゆえにって話が、
1:34:56	いえるローテーションであれば、ほとんどローテーションで外れているって話が文章でも書い、書いていただければ、多分ほとんど変わらないという、
1:35:06	いうことをいえると思うんで、うん。
1:35:12	基本的に石渡委員が出てくることはないと思うんですけど、基本的に興味を戻せば私も出たいって話になるかもしれないんでそういったときになぜこうなってるのかって話が出てこないに限らないので、
1:35:22	多分、工認なんで、一応、若干説明することが出てくるタイミング出てくると思うんで傾斜の話があるんで、
1:35:30	には、だからそういうこともあった時にこの辺、
1:35:34	傾斜貿易だから、特にこここのところLowerあまり傾斜に関して、関係の関係のところだったけど、それなりに興味を持つか、興味を持っておられて見てるかもしれないので、
1:35:46	これはちょっとちょっと、
1:35:47	説明いただけますか、ちょっともう少し、
1:35:50	どう解釈していいのかっていうことがわかるように、それとともにですね、ちょっと長いけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:56	曲げモーメントツモを比較してもらえるとわかりやすくなっている、変形図だとやっぱりちっちゃいからわかりにくいんだけど、
1:36:04	多分、
1:36:06	もともとある施設護岸がある場合の断面力数が出てるので、同じようなところで曲げモーメントは反力として出ているのかなとは思んですけど、下の方もね、護岸がない場合も、
1:36:17	それがタッチの差でちょっと若干小さいだけということだと思うんですけどその辺がわかるようなものをちょっと加えていただくともう少し、その考察、
1:36:28	の内容として理解しやすくなるかもしれませんので、よろしくお願いします。
1:36:33	もう1個は、
1:36:35	ずっと変わっていて、
1:36:38	うん。
1:36:40	ちょっと、
1:36:42	7ページ開いてもらおうと、7ページの図の2-2っていうところでいわゆるね、文章の
1:36:49	話で、文章が年制度とそれ以外っていう二つがあって、多分後年制度っていうのはもともとあって、5番、
1:36:57	の裏の、いわゆる水の吸い出しとか
1:37:01	私の住田爾見さん、要は海水とんか満潮と干潮によって1日だとか、敷地のほうに海水があまり入り込まないように一応フィルターの効果を持たせるのかなというふうには、
1:37:12	理解できていて、何を言ってるかっていうと、ここ書いただけじゃなくて、
1:37:17	例えば、22ページ以降とかにも書いてくださいっていう、前も言ったんだけど、
1:37:22	ここだけにしますっていうことでまあしょうがないかなって話あったので改めて見ると、
1:37:27	今日、昨日見ていくと72ページとかコメントあれ、このところに、こんなねそうだったっていうなんかもう、ちょっと記憶は薄れてくると。
1:37:37	なんか、
1:37:38	何か特殊なことをしてるって思うので、何か応答を小さくする効果を見ながら、こっそり入れてるのかなというふうに、ように思ってしまったりする。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:49	するわけで、なので、実際にあるものなんで、断面図に表れてこないと、モデルに入ってこないはずなんで、
1:37:57	例えば破線で、さっきみたいね制度とか入れてもらえればそういった誤解は現実にあるものをモデル化してるってことだけだと思うんで、
1:38:05	そこだけちゃんとその
1:38:07	その技術を誤認が起きないように、ちょっと図面は入れて欲しいんですが、よろしいですか。
1:38:15	あ、中国電力清水です。はい。先ほどの 22 ページの二目図の方のアノ先生、
1:38:23	したいと思いますという、護岸の影響検討のところにつきまして変形だけでちょっと書いておりますのをもう少しジョイントの作用ですとか、併記断面力図等本件説明を補強させていただきたいと思います。以上です。
1:38:37	はい。
1:38:38	あとね、
1:38:40	これ僕のコメントじゃないんだけど、コメント。
1:38:44	この①の静岡の、
1:38:46	8 ページで、
1:38:49	確か
1:38:52	これだ。
1:38:53	42 番。
1:38:56	この 42 番で言っている、右に書いてある資料の範囲で 277 ページ以降はさっき説明で、
1:39:04	一応、市、基本的な事項なんで、
1:39:07	地盤の基本方針、地盤支持性能の
1:39:11	基本方針に載せますっていうことでそれは了解だと思うんですけど。
1:39:16	ただこの考え方とか言っているから、
1:39:20	本来あれじゃないかな滑り計算と局所安定係数の関係性を示すフローって、
1:39:26	設置許可の段階で、載せてるよね、フロー図を。
1:39:31	いわゆる
1:39:33	引張破壊したときには、図残留強度で複合皮膚複合破壊したときにはもう強度をゼロにするとかいろんな書いてたよね、それを載せるべきなんじゃないのかイトウと回答としてさ。
1:39:46	回答して、どう、どうなのよって話でこれって、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:49	強度の、破壊した時の強度の設定の考え方でさ、強度のその根拠を示せて書いてないよね、コメントが。
1:39:59	これ確か服部さんのコメントだった記憶してそうだよな。
1:40:02	うん。はい。
1:40:04	麻生。うんうん。
1:40:06	思ったんだけど、それに該当するフロー。
1:40:10	で、どこにも出てこないんだよな。
1:40:13	だから、どこか載せたほうがいいんじゃないの。
1:40:17	検討方法ということで、
1:40:20	中国電力シミズですはい。おっしゃっていただいた通りだと思いますので、記載場所の方、あの方は検討しますが記載をいたします。はい。以上です。
1:40:32	私からは以上になります。
1:40:41	はい、規制庁の服部ですでは残り 10 分程度、十分程度なので、少し私の方から細かい話を何点か時間まで、
1:40:52	させていただきます。
1:41:11	規制庁の発表率に④ー26 ページをお願いします。
1:41:19	全く大した話ではないんですけど、
1:41:22	このフローなんですけど、
1:41:26	私の記憶だと、違う。
1:41:30	施設のフローの場合は、わあ、
1:41:33	このフローの中に、全応力カー有効力解析かっていう判定のフローも入って、
1:41:39	て言ったんじゃないかなあ。
1:41:43	とっていてそのことは 25 ページに書いてあるので入ってなくてもいいんですけど、
1:41:47	入っていたんじゃないかなと。それを踏まえて最後の地盤モデルが一位になったりとか、
1:41:54	してたのかなあという記憶が少しあるんですけど。
1:41:59	全部ちょっと見なかったんですけど、これって
1:42:04	全部統一したこういう表になってましたっけっていう事実確認だけさせていただきますが、
1:42:10	はい、中国電力の伊佐です。
1:42:13	それから不定さんは言われているのがですね、屋外重要土木構造物課の記載となっております。で、今回こちらのフローが

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:22	防波壁逆T擁壁の方はこのフローで書かせていただいております、一応ちょっと防波壁の中では統一を図ったという予定で、このフローにさせていただいております。
1:42:33	以上です。規制庁のハトリですはいわかりましたすみませんうん。25ページに言葉で書いてあるので、わかりました
1:42:44	みんな統一だったら統一してくださいって言うと思ったんですけど、これはこれで防波壁の方で統一してるんならそれはそれで結構です。
1:42:58	29 ページお願いします。
1:43:03	ここ不確かさケースである②と③脳地震動の選定の考え方なんですけど、
1:43:11	私の記憶だ等、
1:43:14	こういう考え方ではなかった記憶があります。
1:43:18	あくまでも基本ケースである①に対して、0.5 を超える地震動があった場合は、
1:43:27	その地震動については必ずやりますと、不確かさケースはですよ。
1:43:32	いずれの調査値も0点を下回った場合は、その中で最も大きい地震動を一つやりますと、
1:43:40	いうふうな記憶があるんですね。
1:43:44	今のこの記載だと、0.5 を超えても超えなくても、結局一つだけ、最も厳しい一つだけしか選定してませんということになってしまうので、
1:43:54	わざわざ 0.50 以上 0.5 以下で分ける必要もないわけですよこの記載だと。
1:44:00	何
1:44:02	おそらく、この小冊子について、どっかに表があったと思うんですけども、
1:44:09	青井青井。
1:44:22	規制庁のハトリさん 136 ページあたりですよ。
1:44:26	他の資料だと。
1:44:28	おそらく、不確かさケースある②③は、
1:44:32	青いところが1個じゃなくて、
1:44:34	二つも三つもあったという記憶があるんですけど、なので、
1:44:41	なんかちょっと、考え方がこれだけ違うのかなと思ってるんですがいかがですか。
1:44:47	はい。中国電力の伊佐です。考え方は、ずれ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:54	移らしているつもりはございますのでちょっと確認。まずは逆ということがまずあっているという状況でございます。で、防波壁逆T擁壁は逆T擁壁の調査地とグラウンドアンカーを調査し、
1:45:06	特にブランドがちょっと詳細になってたと思いますけども、
1:45:11	何種類かそういうので選ばれるために
1:45:14	おっしゃる通り、水色がちょっと何列か入っていると。
1:45:19	思ってます。
1:45:27	はい。
1:45:28	今おっしゃっていただいた通り、
1:45:31	逆に用品の場合は、コンクリートのくい。
1:45:35	鉄筋とか、
1:45:38	コンクリート、あとUダンパーというのは、それぞれの部位で厳しい時刻のものを、同時刻じゃないものは選んでいたと。今回ここで書いておりますのはあくまでも地震応答解析の場合は杭だけをモデル化して、
1:45:53	調査しているという部位が特定できているために、フクイで一番厳しいものとしての照査値でということで、選ばれているというところでございますので、
1:46:04	頭んですので、
1:46:06	ちょっと0.5以上のものものをすべてということは、していなかったと思います。以上でございます。
1:46:17	規制庁の服部です。そうすると、
1:46:20	この解析ケースの考え方、
1:46:25	不確かさケースの解析ケースというか、地震動の選定の考え方というのは、
1:46:32	結局、
1:46:33	0.5以上以下にかかわらず、
1:46:36	各調査項目に置いて、
1:46:40	最も厳しいもの、地震動だけ。
1:46:44	を見るということでいいんですけど。
1:46:54	すいません少々お待ちください。
1:47:24	はい、中国電力のヨシツグでございます。
1:47:27	はい。基本は、今おっしゃられた、最終的にはそういったことになってるんで、まずは基本ケースで一番厳しいものが、0.5以上のものがあるかないか。
1:47:37	部位によってそれを選んでおります。それぞれ出てきたもので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:44	衛藤。
1:47:45	レーティングを未満であったとしても、1 ケースを選んでやるといったちょっと屋外重要土木構造物の方はフローをつけてちょっとご説明してるんですけどこの資料上はこの表だけをちょっとつけておりますので、
1:47:59	ちょっとわかりにくいかもしれない考え方は、そういったもので整理しております。以上です。
1:48:05	規制庁の服部ですはい。ちょっと一旦わかりましたということにしておきますちょっと私もう 1 回調べてみますけど、
1:48:13	これだと、結局、何か 0.5 以上以下で分ける必要もなくて、ただ単に、最も厳しい照査値の
1:48:20	地震動を一つだけやりますっていうことで済むはずなのに、
1:48:26	わざわざこう、0.5 以上以下に分けて、
1:48:29	ちょっとわかりにくく書いてる理由意味があまりなさそうに感じていて、だから 0.5 以下を下回ったらもうほとんどもう影響がないので、
1:48:40	1 個だけ、最低でも 1 個だけやるときましよう。でも 0. を上回ると、よくわからないので、それなりに保守的に少し多めに選定しておきましょうということだったのかなとちょっと思ったので、
1:48:52	ちょっと私も 1 回、確認をします。もしかしたら建築がそうだったのかもしれないし、
1:48:59	ちょっと、ちょっと確認をしておきますとりあえず一旦わかりましたということにしておきます。はい。すいません、追加ですけれども、0.5 以上の場合で、
1:49:09	照査値がほぼほぼ同じような、例えば 0.80. 8 といったような地震動が二つ出てくるようなときは、確か両方やるとかですね、そういったところがあったと思います。
1:50:04	規制庁のハツリですはい、わかりました。
1:50:08	あと 1 個ぐらいですかね 74 ページをお願いします。
1:50:14	今回欠損部
1:50:18	開口やは、配管。
1:50:22	があることによる欠損分が他条項乾式容器にはあるんですけども、
1:50:27	その評価が④④断面だと思っています。
1:50:32	この④断面って、結局背面は地盤改良されてるし、
1:50:38	その裏わあ、
1:50:42	Ss機能維持された取水槽の縦断方向の段。
1:50:46	断面が、どんと構えているということで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:50:50	かなりこうなんだろう、しっかりと背面が抑えられてるような断断面になってると思うんですね。
1:50:56	一方取水管が通っていないところ、
1:51:01	多分屋外重要すいません屋外排水量だと思うんですけど、
1:51:05	そこにも開口があってその背面にはこういう。
1:51:09	剛性の高い、安定性の高いものがないということであれば、
1:51:15	むしろそっちの方が厳しくなるのではないかなあという。
1:51:19	懸念もあるんですが、
1:51:24	欠損のところろうのうえっと、ここを選んだ理由ってただ広いだけという理由、先ほどの①断面と②何も一緒なんですけど、
1:51:34	という一つの理由だけなんですよね。
1:51:38	であれば。ちょっと真理を補強していただくか、例えばこの背面を、
1:51:45	液状化を考慮して埋め戻し度にして、やってみて、それでもOKですよという影響評価をやるのかそこら辺はちょっとよくわかりませんが、
1:51:54	少なくとももうん。
1:51:56	背面にこういう、
1:51:58	かたい大きなものがない。
1:52:01	欠損部で幅が増す多少小さくても、それなりに幅があるところについては、選定しなかった理由というかここを選定した理由っていうんですかね。
1:52:12	これはしっかりと説明していただきたいと思いますがいかがですか。
1:52:17	はい。中国電力の伊佐です。はい。まず区域間隔が広いというところで選定をしているというところでございます。一つはですね
1:52:27	杭一本当たりといいますかワンセットあたりといいますか、そういった分担幅というところで考えても、こちらが一番、
1:52:34	大きなところになっているというところでこちら4段目を選定しております。まずそういったところがちゃんとわかるようにですね、
1:52:43	記載をさせていただきたいと思います。先ほど羽鳥さんがおっしゃる通りちょっと、
1:52:50	言われたところ、液状化するしないっていうところにつきましても少し考えてですねこの断面が妥当だですというちょっと説明の方を補強させていただけたらと思います。以上です。
1:53:02	規制庁のハットリ細アノわかりましたちょっと71ページを務めていただいて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:07	ここの北川警備所って書いてあるところの①①断面の右の、欠損部ですね。
1:53:14	ここの幅もう、その 2 号取水槽のところの幅も、
1:53:18	何かちょっと見た目的にはあまり変わらないのかなと思ったので、むしろこういう背面に、1 号取水槽の方は 2 号中操の方と同じような形だと思えますので、それで包括されるとして、
1:53:31	こういうところもあるので、
1:53:33	少し早めにかたいものがないところは設定しなくていいという理由も含めてちょっと補強していただきたいと思います。
1:53:41	とりあえず私から、午前中は以上です。
1:53:51	規制庁の千明です。すいません。午前 9、そうですねもう GTG55 分ですので、一旦ここで終わりたいと思っております。
1:54:02	今回はこの
1:54:06	防波異議多重鋼管杭式溶液の耐震計算書の補足説明が、パッケージで初めて説明されたということですね、ちょっとこちらからもですねいろいろ確認事項が多くありますので、
1:54:20	ちょっと引き続きですね、午後、
1:54:23	午後保管アクセスとか、土石流のヒアリングがありますが、それが終わった後にですね、この続きを行いたいというふうに思いますので、よろしくお願ひしますそれでよろしいでしょうか。
1:54:36	中国電力清水です。はい承知いたしましたよろしくお願ひします。
1:54:43	それでは、午前中のヒアリングを終了いたします。ありがとうございました。
一時中断	
0:00:02	規制庁のチギラです。島根原子力発電所 2 号機の設工認のヒアリングを始めます。
0:00:09	木戸委員。
0:00:10	本日午前中の説明項目の、
0:00:15	耐震計算書防波壁多重鋼管杭式擁壁の確認の続きを、これから行いたいと思います。
0:00:24	それでは、規制、
0:00:26	規制庁側から確認の方をお願いします。
0:00:34	規制庁のハツトリです。
0:00:38	82 ページをお願いします。
0:00:41	④の資料の 82 ページをお願いします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:00:50	ここで9イトウ連結非線形バネモデルの概念図というのがあるんですけども、
0:00:55	これは引っ張り側に対しては、
0:01:00	まず、降伏
0:01:02	引張力までは荷重が上がっていて、
0:01:06	それ以降、荷重
0:01:09	が必ず今田層正常領域に入ることなんですけど、
0:01:12	圧縮側についてはどのように考えてるんでしょうか。どうぞ。
0:01:20	はい中国電力伊佐です。
0:01:23	英語、ハタさんのご理解の通りですね、今回のモデル化につきまして基本引っ張りを見るようなモデルとなっております。
0:01:30	そして江藤、81ページの方見ていただきますと、
0:01:34	フクイトレイン決済の構造というところで3.2. 8-16の図の方です。特に左の方見ていただきたいと思っております。
0:01:43	こちらで得意とうまく特養囲み超えた連結材で
0:01:49	坂東と我々少し読んでいますが、
0:01:52	困ってます。その中に50点コンクリートを詰めているというところで、
0:01:59	ものがあるというところですね、こういったところで基本、ここは宿場についても、共同するというところで、
0:02:06	考えております。それで見べきはこの連結の鋼材のところ、引っ張り破断しないかということということでこういったモデルを考えております。以上です。
0:02:16	規制庁の服部です。これどう変えなのでえっと引っ張りなったり圧縮になったりすると思うんですけど。
0:02:22	圧縮側については、非線形ばねと呼ばれてるものが、のバネ剛性が無限大になるというような理解でよろしいんでしょうか。
0:02:32	規制庁の服部ですコンクリートがあるので、
0:02:46	はい、中国電力の石澤です。
0:02:48	と今回のモデルかというところでございまして83ページを見ていただきまして、
0:02:57	今回ですね
0:02:58	モデルとしては基本
0:03:01	中期書かせていただいておりますが、統一座標でこちらは右側のような図は流動モデル化しております。
0:03:10	で、衛藤この杭と杭のところにジョイント要素を少し入れておりまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:16	へえ。
0:03:18	ちょっと圧縮方法に、要はフクイかよ。
0:03:22	接触しますとすり抜けるといった、そういったところの強度がちょっと、
0:03:26	ないような設定になっておりますんでちょっと圧縮側が見えないというも のではなくて、引っ張り側にのみ聞くような場合という、
0:03:35	理解となります。以上、以上です。
0:03:38	規制庁のハットリですちょっとわからなかったんですけど解析上は、
0:03:43	二乗設定になってて、その二重接点がばねで繋がってるわけですよ ね。
0:03:48	真似わ一日、延びたり縮んだり当然しますよね。
0:03:52	伸びる方は、今の
0:03:55	図 3-2 の 8-18 のような形で挙動するんですよ。
0:04:01	知事の方はどうなるんでしょうかっていう。
0:04:04	のを確認したかっただけなんですけど。
0:04:06	同じように 1 人の方も、口座の圧縮方向にということで同じマネーがシ ンメトリーになってる。
0:04:13	金戸。
0:04:14	もしくは、コンクリートで拘束されているので、
0:04:18	1 時間ないように、ばねが設定されてるのかなっていうふうに思っただ けなんですがいかがですか。
0:04:33	はい、中国電力、磯ですと、基本の考え方ですね先ほど、
0:04:37	果たされた後者の考え方だと思っております、コンクリートがあるので 縮まらないような設定になっているという理解でございます。規制庁の 服部です。わかりました。
0:04:48	そうかもしれないし何かそういう設定もバネがそういう。
0:04:53	コードがそういう機能を持っていないとできなかつたりもするのでちょっと どっちなのかなと思って確認しましたいずれにしろ、どちらでも、
0:05:01	解析には影響ないのかなとは思いますが、結果は少し変わると思うん ですけど、一応どうということなのかということの事実確認だけさせていただ きました。
0:05:12	では次 87 ページお願いします。
0:05:18	ここの図の 3-2-8 の 21 の考えなんですけど、
0:05:22	これって擁壁行使におけるこの仮想背面の考え方。
0:05:28	だというふうには理解しています。ちょっと

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:33	港湾基準はちょっとあまりよくわかっていないので、おそらく擁壁工指針の仮想破面の考え方なんだろうなと思ってんですけど、
0:05:42	ここの
0:05:43	下層の浦米とのところっていうのは今回、コンクリートでモデル化してるんですか、それとも、
0:05:50	剛性としては、土砂の剛性を入れてるっていうふうに理解していいんですか。どうぞ。
0:05:55	はい。中国電力の伊佐です。今回、この仮想
0:06:00	の
0:06:02	といいますのは
0:06:05	重量といたしましては、
0:06:07	ウマコシの重量、そして統合性としましては、コンクリートの中、ゴウセイとなっております。
0:06:16	規制庁のハツリですそうするとー。
0:06:19	仮装背面よりも、
0:06:22	より手前側というのは全部コンクリートの塊になってるといような、今回評価なんでしょうか。
0:06:30	はい。中国電力の笹とコンクリートといいますか、基本
0:06:36	擁壁の人数、
0:06:39	上に乗っかって土は容器と一緒に動くといような、そういう挙動をし、示せる
0:06:45	モデル化としております。
0:06:48	以上です。
0:06:50	規制庁の服部です。
0:06:53	一緒に動くというのは、
0:06:57	任そう背面の考え方はそうなんですけど、
0:07:00	5す。世良部今回ブロックでしたっけ世良ブロックだと思うんですけど、同じ合成が入って、
0:07:10	うん。
0:07:11	ているということなんでしょうか。
0:07:14	はい。
0:07:15	ちゅ
0:07:16	すいません、中国電力の磯です。
0:07:18	少々お待ちください
0:07:21	今回お示ししてるこの埋め戻しどう括弧施設を背面といいますのが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:25	衛藤。
0:07:27	96 ページの 4 番の資料の 96 ページをお願いいたします。
0:07:35	前面側に施設護岸が薄い灰色で書かせて、96 ページにあります。
0:07:41	おりましてその後ろにちょっと、
0:07:45	C斜線の発注がかかったような、
0:07:47	あると思いますこちらが、その目戻しの施設の護岸の背面というところ でございます。で、先ほどの港湾基準の考え方に基つきまして、この施 設護岸ん灰色の設護岸と、
0:07:58	その上の糧土というのは、同じように挙動すると、そういう、
0:08:03	モデル化となっております。
0:08:06	規制庁の服部です。96 ページの埋め戻しとカッコ施設護岸背面と、そ の上の施設護岸は同じ剛性が入ってるという理解でいいんですか。どう ぞ。
0:08:19	はい。中国でございますはい。はいそういうご理解で結構です。
0:08:30	規制庁のハツリです。水、
0:08:34	事実としてはわかりました。
0:08:39	私の理解ワー仮装背面というのはあくまでも擁壁工とかいうその安定 計算をするときに、
0:08:48	背面の埋戻度は、擁壁と一緒に挙動するというので、
0:08:52	安定計算用にはそれを使う、その下層背面に動圧をかけて眼底ケーシ ョンすると、実際生田伊井の応答を見るときわあ、応力を見るときは、直 接躯体に、
0:09:06	動圧をかけて評価するというのが通常のやり方だというふうに理解をし ていて、
0:09:12	今回は施設護岸を直接、
0:09:16	評価してるわけではないので、
0:09:20	ちょっと何となく、
0:09:24	護岸の剛性を見るのはやり過ぎかなと思いつつ、ここにジョイント要素 を入れるのはわからなくもない仮想背面なので、
0:09:34	かなあと思いつつ、この剛性がこんな硬くていいのかなってのはちょっ と、
0:09:40	わからないんですけど、
0:09:43	先ほど言いましたように
0:09:47	護岸の評価をしてるわけではなくて、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:51	4 駅の、ごめんなさい防波壁の評価をしているので、あんまり影響がないのかなと思いますので事実だけは確認したということで、ここはとどめておきます。以上です。はい。中国電力のヨシツグでございます。おっしゃられた通り、
0:10:06	我々して貿易の動き、それに関する影響というのを見ております。先ほど加藤さんおっしゃられた通り、
0:10:16	画像、背面として設定しない場合にはここ自体が非常に変な共同をしていますね、
0:10:23	本来見るべき杭のちょっと調査というところのと違う、影響度合いっていうのが出てきますので、護岸と一体で動くということでこういったちょっと承知をさしていただいております。以上でございます。
0:10:37	規制庁のハツリですはいわかりました。
0:10:40	105 ページお願いします。
0:10:44	今回ここに改良地盤後の物性値が入ってないんですけども、使わないから入れてないということだというふうには理解をしているんですが、
0:10:56	前回も少しちょっと
0:11:00	確認したんですけど、
0:11:02	難透水性とか止水性に対しては、
0:11:07	女川でも多分同じことをやってると思うんですけど、
0:11:11	局所安全率IIで、
0:11:15	ある程度確認をしているというところもあるんだというふうに理解しています。
0:11:21	滑り安全率の場合だと、例えば一部分が一破壊しても、残りの部分が健全であれば、トータル的には滑らないという評価になりますし、
0:11:31	なるんですけども、
0:11:33	それは、同時刻で、
0:11:36	ある時刻は例えば右上が破壊してるけど左下は破壊しない。
0:11:40	違う時刻では左下が破壊してるんだけど右側、右破壊しないっていうことになっていても、同時刻であれば滑り安全率としては 1.2 を上回ると、ただ結果的に、
0:11:51	最終的には右上も左上も破壊してるというような評価になって、水みちらしきものができてる可能性もあるということで、
0:12:01	あまりその曲 3000 率が 1.0 を下回る範囲が広いと、それは難透水性を確保できないんじゃないか。
0:12:09	というようなことで女川ではいろんな議論があった。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:14	特に防波壁のところですね。
0:12:16	というふうに理解をしています。
0:12:18	今回もうやっぱりそれはやるべきではないのかなと、女川でやっていますので、
0:12:24	評価、
0:12:27	項目等、今日安全、今日限界のところにはなかなかこう、
0:12:32	定性的に書けないので、そこに載せるのはなかなか難しいんですけども、
0:12:37	そこは見ておく必要があるんじゃないかなというのは今回、前回のそのT型擁壁の逆T擁壁の下の地盤改良体のところでもう、
0:12:48	同時刻、
0:12:50	局所安全率じゃなくて最終的な全時刻の局所安全率の淘汰、合計の高い領域をっていう話があったと思うんです。ですけど、
0:12:59	それは今回⑤断面も一緒かなと思うんですよね。
0:13:03	今回ちょっと⑤断面が薄いので、
0:13:07	どこまでというのは少し懸念はあるんですが、そこでは使うんじゃないかなあと思いつつ、
0:13:16	ここにはないのは何でかなということで確認をしてんですがいかがですか。
0:13:26	はい。中国電力の伊佐です。はい。まずですね今回、この耐震計算書に⑤番がないというところは先ほど羽鳥さんからも
0:13:36	ご発言していただきますけども耐震計算書上は
0:13:40	期待をしない部位というところでちょっと載せていないというところがございます。
0:13:46	ただ今日午前中ですね矢崎さんからも、
0:13:52	宮木のときにもほどありました通りでございますってちょっと改良⑤というところの状態も少し、
0:13:59	見るべきかなというところかと思いましたので、少し確認をしてみたいと思います。
0:14:08	以上でございます。規制庁の服部ですはい。ということは、
0:14:13	⑤田部井も局所安全の評価をやる、⑤じゃなくて④も含め、④は難透水性がないのか。
0:14:21	何透水性のあるの役割を求めている。
0:14:26	一番改良については、局所安全率の評価もやるという理解でよろしいんでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:37	はい、越後植草。
0:14:40	ちょっとまずすいません
0:14:43	ちょっと、確か大伊井上部だったような記憶があるんですけど少し、
0:14:50	確認させてもらって少し方針の方またご説明させていただけたらと思います。
0:14:55	すいません。規制庁のハットリですはいわかりました確か。
0:14:59	許可でも、何か局所安全率を見ていたような気がするんですよ。
0:15:04	多分女川でも見ているのD。
0:15:07	局所安全率IIが 1.0 を下回って多少のひび割れが起きてそこに水みちができて、その水道を通して津波が敷地に流入するかというと、それは、
0:15:19	甚だ各可能性としては低いかもしれないんですが一応、
0:15:24	どれぐらいのひび割れができてとか、どれぐらいの水みちができてっていうのは評価できないので、安全側として、破壊領域があまり広がらないっていうことは確認してるというふうに理解をしていますので、
0:15:36	少し検討いただいて、また説明をいただきたいんですがよろしいでしょうか。
0:15:45	はい。十分連絡ですはい、承知いたしました。
0:15:51	規制庁のハットリです。次 161 ページお願いします。
0:16:00	すいませんここはですねえ。
0:16:02	第 2 パラグラフに書いてあることがちょっと理解はできなかったのも、
0:16:08	ちょっとこの説明をお願いできますでしょうかどうぞ。
0:16:12	はい。中国電力伊佐です。はい。申し訳ありません、こちらですね
0:16:17	ちょっと記載していて、ながらですね本来だったら野島の申請載せていた
0:16:23	セダン、
0:16:24	10 倍 0 のひずみ依存特性のちょっとグラフも承認された上で、こういった記載をすべきだったとすみません、反省をしております。
0:16:31	まず、今回ですね
0:16:34	自然なひずみ分布というところを示させていただきまして、
0:16:38	特に
0:16:40	真島の申請の衛藤。
0:16:43	にも書かせていただいておりますけども、
0:16:46	よう試験結果。
0:16:48	特に動的の振替 39 試験結果で確認している。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:52	ひずみレベル、
0:16:55	今回解析でも、それを上回るか埋まらないかというのを少し見た方が良くいというところで今回確認したところでございます。
0:17:04	で、今回刈羽④で申し上げますと、江藤繰り返し3軸試験につきましては、 2.0×10^{-03} 条、このところまで繰り返す資産地区試験で確認をできております。
0:17:18	今回
0:17:20	見ていただきますと、
0:17:22	ちょっとそれを上回るようなひずみが出ているという状況になっております。
0:17:28	で、
0:17:29	これ解析上その国の評価として、ご意見評価として、
0:17:34	どうかというところを少し考えて、
0:17:36	いったところが
0:17:38	この2段学園の
0:17:41	文章となっております。
0:17:43	すいませんちょっと文章だけで大変申し訳ないんですけども、
0:17:46	今回試験結果の方で言いますと 2.0×10^{-4} というひずみレベルで言いますと、せん断弾性係数比、自賠G0 というのは、大体 0.2 ございます。
0:17:57	それに対しましてFLIPで設定している。
0:18:01	物性値としてはそれよりも低くて大体 0.1 程度というような値となっております。
0:18:06	ですので大分もうこの時点で保守的に設定しているというところ。
0:18:10	そしてさらに
0:18:13	文節解析を物性値として保守的に設定しているというところ。
0:18:17	で、もうすでにもう 0.1 程度という大分も落ちている状況となっておりますので、S、
0:18:22	ここら辺のもう、
0:18:24	物としてはすごいんでくるようなところになっておりますので、
0:18:29	ちょっとひずみの方はもう少し大きなものが出てますけども、解析上も十分剛性が落ちた状態になっているというところで、
0:18:37	衛藤。
0:18:39	今回、
0:18:40	この会、
0:18:41	井関においても、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:43	問題ないというような、そういった記載をさせていただいております。以上です。
0:19:14	季節のハツリですニュアンスは、わかりました。
0:19:23	試験結果でないところもあるんだけど、十分、
0:19:28	ひずみが収束してるでしょうと。
0:19:32	いうところで、あまり影響がないでしょうとそこでそうひずみが収束し切ったところで収束っていうか、低下し切ったところで、議論をしているので、
0:19:43	そこdす多少の
0:19:46	ところでそこを超えるところがあっても、結果には影響ないでしょうというそういう理解でいいんですかね。どうぞ。
0:19:54	はい中国の米田ですはい。そういった趣旨でちょっとこういったことを書かせていただいております。以上です。
0:20:01	規制庁のハツリですはいわかりました。
0:20:09	規制庁のハツリですこれは記載になりますが 183 ページをお願いします。
0:20:15	183 ページの上から 5 行目。
0:20:19	施設護岸等が首藤側に寄与して、
0:20:26	防波壁寄与して、
0:20:29	防波壁に起こる鋼管ぐいの変形を抑制することが想定されるって書いてるんですけど。
0:20:35	首藤側に寄与したら、
0:20:37	変形を助長させるような気もするんですけど。
0:20:41	ここって誤記ではないんでしょうかっていう事実確認だけ。
0:20:47	はい。15 分電力ミズタです。こちらにつきましてですね。すいません。里さんが、少しそういった取り方ができると少し思いました。ちょっとこの文書の考え方としては、
0:20:59	もともとですね、後ろ側に施設護岸があるというところで、背面からドーナツを施設護岸が受けてそれを防波壁伝えないと、
0:21:08	というところがあるんじゃないかというところで、そういうそういった影響も含めての
0:21:13	確認をするというふうになります。で、その背面が導通を受けるというところが首藤側、
0:21:21	それを
0:21:23	したところが受けるというのでちょっと企業っていう、そういった書き方を進めさせていただいております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:29	はい。です。ちょっとすいません。おっしゃる通りちょっと上の方はですね
0:21:34	素直に読める書き方をされていて、シーザーし、
0:21:38	主事動画によってですね、首藤側に拠点を少し、ちょっと、
0:21:42	今羽田さんがおっしゃる、
0:21:44	ご理解もあるなと思いました。
0:21:48	なのでちょっとこちらの文章は少し、
0:21:50	修文させていただけたらと思いますが、いかがでしょうか。
0:21:55	規制庁のハツリですはいわかりました
0:21:58	文字づらだけさわって読んでいくと、首藤側なので、
0:22:02	右側っていう意味でなかなかとらえにくいですよ陸側とか海側とかい う表現ならまだわかるんですけど、ちょっと首藤側というと、
0:22:11	わかりにくいかなと思いますのでよろしくお願い記載の適正化の方お願 いします。
0:22:17	あと 230 分、239 ページお願いします。
0:22:24	確認なんですけどここにおける、その粘性度をCで評価するっていうの は、
0:22:31	Cを 21.7kNでφを 0 にしてるっていうことなんですか。
0:22:37	はい。中国電力大江さんです。すいません、こちらのφの記載が途中か らなくなっております。はい。江藤。もともとはですね 235 ページに記載 しておりますが、非性能で、
0:22:52	記載している物性値なりますがC=0φ=30 となります。
0:22:57	これに対しまして衛藤。
0:22:59	次、237 ページに記載させていただいてます通り、実際現地としては、
0:23:04	ある程度粘着力が確認されたというところで、Cコール 021.7 のみ変え たということでφは 30 度変えないというところになっております。
0:23:17	以上です。規制庁の服部です。はいわかりました
0:23:21	慣用的にはさ湿度ワーし、ファイザーなので、φ=2 何とかで使用ゼロ、 DC年制度は資材なので、Cコール幾つでφはあっても 0 にするって いうふうにやり方が一般的なので、
0:23:35	どうかかなと思ったんですけどここはあれですね、差異は変えずにCだけ上 げたということで、技術的に強くなってることによって、強くなった場合 にどういうふうに悪影響があるかっていうことを評価してる。
0:23:48	というふうに理解すればいいんですね。
0:23:51	はい。10 億円でください。はい。その通りでございます。実際ですね
0:23:56	今回こちらが

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:58	一番の資料で言いますと、
0:24:02	すいません。
0:24:03	7 ページ目。
0:24:05	の、
0:24:07	38 番ですね、地盤の申請の際に、
0:24:11	粘着力 0 と、我々今回設定いたしました但实际上、C、次第といいますか CR というところでその影響も、
0:24:19	高尾稲田というコメントいただいたものの
0:24:23	回答としてやった事業検討となっております。以上です。
0:24:28	規制庁のハツリですはいわかりました。
0:24:32	そう。それであれば、この表の中 2 ファイル値も書いといてもらった方が誤解を招かないと思うんですがいかがですか。
0:24:40	はい。中国電力の伊佐です。はい。ご理解の通りだと思います。ご指摘の通りだと思いますのでちょっと、
0:24:47	今回影響検討した
0:24:49	方ですね、県、
0:24:52	した際の解析用物性値につきましてもちょっと、
0:24:55	明記するようにさせていただきたいと思いますが、こちらの 5 ポツ 1 ポツ 1 の、
0:25:01	佐伯層の方につきましても、
0:25:03	同様にはい、させていただければと思います。以上です。
0:25:07	規制庁のハツリですはいわかりました最後になります。112 ページお願いします。
0:25:21	法線方向と、法線直角方向の記載なんですけどこれ許可からずっとちょっとこだわってまして、
0:25:30	どうしても私の
0:25:34	感覚と違うんですよね。
0:25:38	法線方向をインターネットで調べると。
0:25:41	直線に対して直交する方向っていうのが出てくると思うんですよね。
0:25:45	これ直線に対して直交する方向だと直線って多分こう防波壁の、線形の直線で、
0:25:53	法線方向っていうのが、横断方向になるというのが、多分感覚的には私の中で理解ができるんですけど、今回、
0:26:03	中国電力の方では、
0:26:05	横断方向を法線直角方向と呼んでんですよね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:09	そこがちょっとやっぱりわかりにくいので、
0:26:11	例えば 110 ページ。
0:26:15	のこの図を使って、
0:26:18	ここの資料では、どっちを法線方向と呼んでいるのか、どっちを地方選直下方法と呼んでるのかっていうのの概念図を、
0:26:26	まずどっかに、
0:26:28	つけていただいた上でこの話に入っていた方がいい方が、
0:26:32	ちょっと理解が進むのかなと思ったんですがいかがですか。
0:26:39	はい、中国電力の伊佐です。
0:26:41	はい。承知いたしました衛藤こちら法線。
0:26:45	広報線直行方向コダマ定義というのを、
0:26:49	少しどこかでさせていただければと思いますちょっと場所はそうですちょっと、
0:26:56	はい。
0:26:57	はい。どうぞ。はい。少し考えさせていただきますがはい。定義づけの方はさせていただきますと思います。
0:27:04	以上です。
0:27:05	規制庁のハツリですはいわかりました私から以上です。
0:27:21	規制庁の三浦です。ちょっと私の方から幾つか、今ちょっとハツリの、
0:27:26	今、質問に対して関に対して、もう一度ちょっと確認をしておきます。
0:27:32	資料 4 の 383 ページ。
0:27:38	右上のモデルの話なんですけど、
0:27:42	これちょっと先ほどの答えが曖昧だったら、曖昧だったんですけどこれ同一節点でモデル化しているのにそこに先見の引張だけを定義したモデルを、
0:27:52	入れてるわけですね、ばねをね。だから、
0:27:56	基本的に引っ張り当たらない限りはどういう設定を守られるっていう過程、
0:28:01	あくまでもその場面に引っ張り入ったときに初めて、その引っ張りが考慮されて接点がなれるっていう、
0:28:07	そういう過程になってる。
0:28:09	と私は理解してたんですが、そういう理解でいいですか。
0:28:23	持ってないんで、自由、
0:28:24	プレッションだったら十分でない。
0:28:41	そうですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:56	申し訳ない。中国電力の宗です。すいません。この同一座標でモデル化というふうになんて注記で書かせていただいております。これ、
0:29:05	こちらが結構ですね、同じ座標なんですけども、二重接点とか、汎用性とかそういったところをやっております。
0:29:12	同じ座標上に、海側の杭の要素がいて、
0:29:18	最初は衛藤。
0:29:21	李桑野でも同じ場所にいると。そして地震動をかけていたときに、
0:29:26	強度がかかったときに引っ張りアノ引っ張り菅湖離れるような挙動したときに、このばねが効いてその時に、先ほどおっしゃった、
0:29:35	鋼材なりの絵と、
0:29:37	力が発揮されている
0:29:40	国が離れていこうというのを止めるというようなことを、
0:29:44	模擬しております。規制庁まず基本的には、ハットリもちょっとトガサキ'側に無限誤差が入ってるものを、
0:29:51	になってるんですよ。それで多分圧縮ジュウド殺しちゃってるから、同一に国って意味だと思ってたんだけど、
0:30:00	あまりこう議論してもしょうがないですけど、その辺はちゃんとモデル化されてるといふふうに私は思って理解をしていました。
0:30:07	それと阿藤 161 ページ、ごめんなさい資料 4 の 161 ページですね、これちょっと羽鳥がいろいろこだわって私もこのところってのは、
0:30:17	何のイメージエビデンスもないので、
0:30:20	これで納得しろっていうのは酷かなっていうふうに思っていたので、先ほどちょっと清水さんおっしゃられましたけど、少しこれ補強していただいて、こんなところを素直に読めるようにちょっとしていただければいいかな。
0:30:34	いふふうに思いました。
0:30:41	あとですね、ちょっと私が気になったのは、例えば、
0:30:49	210 ページ 211 ページちょっと見ていただくと、ここも、
0:30:54	ちょっとこれ根本的なことを私わかってないんだと思うんですが、荷重交換の施工方法ってどういうふうに行われてるんですか。
0:31:05	はい、10 億円でございます。衛藤。
0:31:09	どういうふうに行ってどういうふうに行っているかというところだと思います。
0:31:14	まず
0:31:15	例えば一番から 32 番、2-2 とかですね、まず、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:21	ケーシングを最初に打ちまして、そのあとにその土を取って、外側なんかどんどんどんとうっていうか、
0:31:32	244 ページ少しよろしいでしょうか。
0:31:43	えと 244 ページで多重化はデコミ状況というところが、写真でございますこれも全部残りが入ってしまった後なんですけども、
0:31:52	外側の杭角野打っていきまして最後に 10 アノ杭が、当間知、立ち上がっておりますのでそれを、
0:31:59	立て込むと。
0:32:00	そしてここに立って今度後にヒーフコンクリート平均の方を施工していくというようなやり方で、施工しております。
0:32:08	規制庁の三田ですけど施工はそうだと、いうふうに思っていたんですが、そうすると杭間ってこれどのぐらい。
0:32:15	取られてるんですか今、
0:32:17	例えば 210 ページの下から見ると、すごい杭間が費、小さいですよ。
0:32:24	これってどのぐらい取られて最終選挙にそれで施工的、
0:32:28	てるんですか。
0:32:30	入ってて、ケーシングで盛り込むんだ少し。
0:32:35	幅が要るんだらうと思うんですね。ちょっとその辺通り御考えなのか教えていただきます。中国電力の人見でございます。ケーヒンはですね、
0:32:42	これ、土佐磯との杭が 2.2 メーター
0:32:49	で、ケーシングが 2.4 メーターのケーソンと、
0:32:56	ほいまして、
0:32:58	隣り合うところこれ書いてあります、2.5 です所以間が、一応 10 センチ程度は行ったところでもうここケーソンが直っているというような、
0:33:09	状況でございます、計算じゃなくて杭の穴を全開で掘っているというような状況でございます。規制庁メールそうするとこれ 1 本ずつやっていくんですか。
0:33:20	飛ばしてやっていく。
0:33:23	これ、施工上、飛ばして、
0:33:29	実質、実質上はもう少し離れたところなんですけれども、ワンスパンの部分で考えますと、飛ばしたものであってそのあと真ん中の穴あけると、そういったやり方をさしていただいております。わかりました。どうもありがとうございます。
0:33:43	すソーレなんかちょっと参考資料の中につけていただけます。これも、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:48	施工方法を、やっぱりかなり考えないとこんなくい三つ言ってないですよ ね。
0:33:54	すいませんがよろしくお願いします。
0:33:57	中国電力清水ですはい、承知いたしました。
0:34:01	はい。ちょっと今の服部の質問に関連することなので、
0:34:06	あと私の方でちょっと気が付いたところを幾つか言っていきます。
0:34:11	まず、資料 2 の 14 ページ。
0:34:17	これも記載の話です。一番下に施設として、被覆コンクリート壁モデル 化を行わず資料として自重を考慮する。
0:34:24	いうふうに書いてあるんですけど、これなぜそうなのかっていうのをそこ に書いてあるんですけど、ここにもやっぱり添付資料に入れとくべきだ と思います。妥当対策コウノ重量を見てるっていうのも、ちゃんとここへ入 れというか、入れといたらいいと思うんです解析の条件なので、
0:34:40	ちなみにその対策ってどのぐらい見てんですかどっかにこの資料として 入ってます。
0:34:47	中国電力清水です。それは、重さとかそういった意味でしょうか。あーっ と見た出漁質量を考慮することだけ書いてあるんですけど、具体的 にどのぐらいの質量を考慮されたっていうのが、
0:34:59	記載が見当たらないんですけどどっかに書いてありますけど、
0:35:02	中国電力清水です今回のこの資料にはかけておりません。衛藤が許可 の時から
0:35:09	考えております重量、少し保守的にはなるんですけど載せておりまし て、
0:35:18	メタ
0:35:20	あたり 200kN、
0:35:23	ということで、
0:35:24	それを貼り 2 項中、質点として、
0:35:28	モデル化するというのをさせていただきます。
0:36:02	規制庁の三浦です。具体的にはその対策がどういう形状になってるって のこれからの設計マターなので、その時にちゃんと動解を重量で見て るのが保守的だよなって確認をすればいいと思うんですけど。
0:36:14	やっぱり解析条件なので、ここにはどんだけ見ましたっていうのをやっぱり 入れとくべきだと思います。
0:36:23	次、お願いします。
0:36:29	これがよくわかんなかったのは、資料 3。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:33	ですね。
0:36:34	資料 3 の 32 ページ。
0:36:38	なんですけど、
0:36:39	ここで、これ 3 時間のモデル。
0:36:43	のことにについて解析方法ってことでまとめられているんですけど、
0:36:48	ここの、
0:36:50	7 行目から 8 行目にかけて、当該時刻における地震法と応答から、
0:36:57	地震時度圧及び慣性力を設定するっていう言葉があるんですけど、
0:37:02	これ 10 シントウスナガワ考慮してるんですか。
0:37:05	私が見る限りは変揺れてきてるんで、この表現は正しくないんじゃないかなと思ったんですがいかがですか。
0:37:12	はい。中国電力の伊佐です。
0:37:14	衛藤そうですね
0:37:16	確か今、皆さんがおっしゃった通りで主に変位と荷重が加速。
0:37:23	慣性力がとなっております。今回ですね地盤ばねをモデル化してその辺を掛けてあげることでそういった、今回言いますねじれっていう状況と、
0:37:35	くにかかる動圧っていうところを表現しているというふうに考えております。また、なぜ
0:37:42	嘘ではないんですけども少し今の設定方法からいうとちょっと、
0:37:47	むというふうになると思いますのでちょっとこちらすみません
0:37:52	稲井スズキさんの方補足説明資料とですねあわせて記載させていただけたらと思います。すみません。
0:37:59	後で入力箇所に出てきますよね。その時やっぱり変位と慣性力、あと静止度圧と、そういうやつかな。なんか入れてるんでそれもちょうと問題かなと思って見てただけど、
0:38:10	もう本当は重なっちゃうんですね、いろいろちゃうとねその部分が、それはまたちょっと後で言います。ちょっとここはシェアの記載はちゃんと適正化してください。お願いします。
0:38:20	それと同じ資料だ。
0:38:25	3 の、42 ページこれも感染記載なんですけど、
0:38:30	こういう 42 ページみたいな図、これ、いえるレベル入れていただけますか。
0:38:36	これどう言うか高さレベル関係になってるかってちょっとわかりにくいので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:41	これ補足にもこの図でくるんですがそれにもいえるを入れてください。あとちょっと見ていただいて、その図が入ってるところにELLレベルがないやつをやっぱり入れといていただきたいんですよ。
0:38:51	すいませんがお願いしますよろしいですか。
0:38:55	はい。中国電力ですはい。申し訳ありませんでした。こちら、こういっただすね高さ関係のところがあるように、ちょっと資料全般として、確認して追記の方をしたいと思います。以上です。よろしくお願いします。
0:39:09	それと今度資料4に行きます。
0:39:16	資料4の、
0:39:18	79ページですか。
0:39:23	これもすごい単純な話なんですけど、
0:39:27	これ、交換部位の例えばアスタリスク見るとそういう条項勘繰りの番号って書いてある。
0:39:33	ですよ。これ、鋼管杭の番号でどこに打ってあるんですか。上の方の図で1234と言えいいんですか。
0:39:42	どっかに鋼管ぐいの番号って振ってありますか、申し上げません1億円でもエザワですはい。ちょっと※2につきますね。
0:39:51	当間ほか番号といますか、最うち区間からの順番といますかそういったことになってますちょっと。
0:39:58	申し訳ありません。記載の方修正して、
0:40:02	図の方に一番振るか、ちょっとこの(2)の記載をちょっと変えるか少し、
0:40:08	入れさせていただきます。
0:40:09	そうですね。なんか、上の方の、この図のところにも振っておくと、
0:40:13	わかりやすいと思います。お願いします。
0:40:18	それと、
0:40:21	これはさっき話が出たの。
0:40:27	84ページ。
0:40:29	同じ資料4ー84ページなんですけど、
0:40:33	これ、先ほど出てる。
0:40:35	ただ先ほどから出てる国と連結ばねに関してはこれ、長さ方向の補正ってしないんですか。
0:40:43	他のものについては、その長さ分のその自分が持つてるエリア、
0:40:49	このエリア比で、0.471とか何とかってこういう補正值をかけてますよね。
0:40:56	これは国と、非線形ばねはどうしてるんですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:01	はい。中国電力さんですはい。
0:41:04	皆さんがおっしゃる通りでございます、こちらも同じように、
0:41:07	国と同じような考え方になるように、補正の方、かけております。
0:41:14	磯すいませんそちらの記載がちょっとおっしゃる通り抜けておりますので、少し追記の方させていただけたらと思います。はい。お願いします。正確に書かれてください。
0:41:26	それとあとが、
0:41:28	122 ページ資料 4 の 122 ページ。
0:41:33	これは確認なんですけど、
0:41:37	この表 3-3-4-1、詳細時刻の考え方っていうのが出てますよね。
0:41:43	これどうもこの全体の資料見ててよくわかんないんですけど、
0:41:47	B棟完成力は、詳細時刻がそれぞれの最大をとってきてるのが、
0:41:55	詳細時刻ですかそれとも変位最大で、
0:41:58	慣性力の方もそれと同じ時刻にしてるんですか。ちょっとそこよくわからないんで教えてください。
0:42:03	はい。中国電力の伊佐です。はい。衛藤。
0:42:07	結論といたしました変位の方を見ております。
0:42:10	基本はですね今回この 3 次元というのが、
0:42:14	日本コンクリートの文。
0:42:16	本校正方向ですか、こういうねじれに対して、衛藤。
0:42:22	大丈夫かというところを確認のための、
0:42:25	評価だと思っております。なので基本も変位というところをベースにして一番、ねじれるタイミングというところで、3 次元するという観点で詳細時刻を決めております。その際の加速度、
0:42:38	もあわせて抽出して、3 次元を実施するというところでございます。
0:42:43	規制庁の三浦です。多分中身読んでいくとそういうことだなと思ったんですがそうするとね。
0:42:49	124 ページ。
0:42:53	これで詳細時刻の選定ってあるじゃないですか。これで変位と慣性力これ別々にやってますよね。
0:43:00	これでちょっとわかりにくかったんですよ。
0:43:03	ちょっとこれ、
0:43:04	今言われたように、杭の方の杭の変位の方を補充してるんで、その改変杭の変位の照査時刻と同じ慣性力を持つてるって読めるように、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:15	このフローチャートを見直しといたらいいと思います。いかがでしょうか。 はい。中国電力の伊佐です。はい。ご指摘ありがとうございます。こちら ですね
0:43:26	同様に 3 次元するような構造物というのはこういった記載になって少し あまり、
0:43:31	考えずに記載をしておりました。おっしゃる通りですねちょっと並列に見 えてしまうというところがあると思いますので、
0:43:37	少しこのフローの方、記載の方、考えたいと思います。ありがとうございます。 はい。お願いします。
0:43:43	それとこれあと先ほど言ったのは、補足の 123 ページなんですけど、
0:43:52	厳密に言うとな。
0:43:53	声を入れてしまった時っていうのは、Pの中に、もう慣性力によるものも う動圧によるものも入っちゃってるんですね変位っていうのは、
0:44:03	地震ゴトウだから、
0:44:04	そうすると、この変位にそのくい部分に慣性力等を
0:44:10	制震どうぞ会社、崖錐活動これも入っちゃってると思うんですよ。
0:44:15	だからこれダブらして入れてることになるんです。なると思うんですが、 その辺はどういうふうにお考えですか。
0:44:20	この入力をどういうふうにお考えになったのかなっていうのをちょっと話 しを聞かせていただけますか。
0:44:27	はい。中国電力の伊佐です。皆様のご理解の通りだと我々も思ってお りまして、その辺を入れるというところは、結局、
0:44:37	特に今回杭の変位ですけれども、国に対しては、
0:44:41	そういった
0:44:42	ドア性しょうがないすんなりすべて受けた上での変位となっているので、 その際に立つてのはちょっと、
0:44:49	どうなのかなというのがあったんですけども、ここがですね、ちょっと、
0:44:56	実際、
0:44:58	国、はい。
0:45:01	よろしいですか。
0:45:02	はい。
0:45:04	はい。
0:45:05	苦しいね、どうか。
0:45:08	はい。おっしゃられる通り、はい。
0:45:12	本来ならですね、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:14	応答変位法のようなもので地盤から出てる。
0:45:17	その地震時の応答すべてを閉0当ててるというのが、今回の下の部分についてはその通りだと我々も思ってますんで、
0:45:25	今回ちょっと悩んだのがですね、大戸平方として当てるときに、杭の
0:45:33	特に地上部分のところまで杭の変形をさせて、それで、慣性力なしにしたままで、調査をした方がいいのか、それとも、徳井の下の部分、
0:45:45	は、応答変更のようなもので、ねじれを表現して、地上部分については慣性力を与えると。
0:45:52	いう方で、調査をすべきかというので、今回対象としておりますのが地上部分の被覆。
0:46:00	コンクリート壁のみになるので、理論的にちょっとおかしいとは思ったんですけど下の方の有無慣性力、生井に全部悪意ひっくるめて全部慣性力かけて、
0:46:14	ちょっと小表現をしたというのがちょっと実情でございます。
0:46:21	私も多分その辺は同じことを思っていて、
0:46:25	本来はディレクターがおかしいですよこれ。ただ、その被覆コンクリートを対象にしてあって、その部分を調査するには多分これ保守的になるんで、だと思ってたんですよ。
0:46:35	今応答変位法の話もありましたけど、そういうふうを考えてそうやられたのかなとは思ったんですが、
0:46:43	この結果そのものは私はアグリーなんですけど、そこをちゃんと書いていただきたいんですよ。
0:46:50	これこれこういうもんなんだけど、保守的にこういう扱って、ダブルで変位と、こういうものを入れてったんだ。
0:46:58	実際的に、
0:47:00	被覆コンクリートの断面照査が厳しくなるような方向保守性も生の声持ってたんだっていうようなことをきちっと書いていただけますでしょうか。
0:47:13	中国電力シミズですはいそのあたりの経緯等、
0:47:16	記載の方入力荷重のところ記載したいと思います。以上です。はいお願いします。それとあと123ページのこの図なんですけど、
0:47:26	個管杭変位はこれ杭等だけに入れてるんじゃないんでしょ、中間部へ入れてんじゃないですか違うんですか。
0:47:35	はい中国電力さんですはい。衛藤。
0:47:38	これはちょっとオクイトウだけに入れております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:44	イトウだけ見るっていう
0:47:48	その辺だとバネを返したりする。
0:47:59	まあ、それで中間部には全部自腹入ってるんすよねこれね、そういうことね。
0:48:08	結果としておかしくないような気がするけどなあ。
0:48:12	これもちょっといえるイレギュラーなんですよ。なぜそういうふうに思われました。
0:48:16	何でくいとだけに入れる。
0:48:19	中間部の変位も入れていくべきじゃないかなと思うんだけど、なぜそういうふうに考えられたのがちょっと教えてください。
0:48:24	中国電力の清水です。はい。こちらにFLIPのナカノを頭から変位を取り出して入れているんですけども、
0:48:33	その中の杭の剛性というところでは、同じものになっているということで、杭の剛性も高いですし、上の方さえ入れておけば基本的には同じ。
0:48:43	真ん中もなるのかなというふうに考えて、ちょっとこのようにしてございます。おそらくその先ほどの話に戻ってーコンクリートの部分いるんだったらこれでいいかなという気もするけどねこれも少しイレギュラーですよ
0:48:56	はい。ちょっとこの辺りの考え方と、
0:49:00	あと
0:49:01	実際問題、杭ごとに頭分布で
0:49:06	変位を与えるっていうやり方でも、
0:49:09	おそらく変わらないんじゃないかと思うんです。ちょっとそこは我々も確認をしてですね、また、追加のご説明等、ちょっと考えたいと思います。はい。以上でございます。はい。今、ヨシツグ言われたように、この 123 ページのこのモデル化。
0:49:23	あとその荷重のかけ方。
0:49:25	これやっぱりイレギュラーの部分結構あるので、結果的に設計なんで保守的ななってればいいんです、いいと思うので、
0:49:33	それをちゃんと説明をしてください。これお願いします。
0:49:40	中国電力シミズですはい承知いたしました。はいお願いします。それと次が、
0:49:47	130 ページ。
0:49:52	これ非常にねじれっていうのを考慮してってのは、面白いなというふうに思って思って見てたんですが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:00	ここで解析ケース 1 から 3、最小となる、あと最大となる、これを両端にこう、
0:50:07	変容 9 系へん入れてますよね。で、
0:50:11	これは同じCCは、
0:50:14	同時刻なんですか。
0:50:16	それとも、
0:50:18	地震版によらずこういうことやってるのかと、時刻は違うところを選んできてるのかそれはどうなんでしょうか。
0:50:26	はい。中国電力の伊佐です。はい。江藤。同じ地震動でええと、あとこの変位が一番大きくなる時刻っていうのが基本、ばらつきを見ても変わらないというところがございまして、
0:50:40	同時刻になっております。それを結果として一応同時刻なっちゃったっていう意味ですか。わかりました。それもね、これ少しその説明をここに加えておいていただきます。
0:50:52	同一地震動の中で、同一、同一時刻での最大変位最小変位、
0:50:59	これを解析ケース 1 から 3 の間に選んだっていうことですよ。
0:51:26	考え方は、
0:51:30	はい。
0:51:31	その通りでございまして、
0:51:34	先行サイトを見ますと、地盤のばらつきのものですか、例えば区長がそれぞれのワンスパンの中で違うとかそういった影響のものを見てノジリが出るんじゃないかというのをやっております。当社の場合は、
0:51:49	ワンスパンナカノ杭長というのが、一緒にございまして、何が影響があるかといいますと、やはり地盤のばらつきっていうのがあるだろうということで地盤のばらつきのもので、
0:51:59	止水ジョイントのところもやってますこのスパンのところの理事というのも同じ考え方でやっております。ちょっとその辺りが、少し書いてあるんですけどあまり、
0:52:10	どうだったか。
0:52:12	もう少し、追加で、同じ考え方でそういったところをやってますっていうのを地域の方さしていただけたらと思います。
0:52:46	はい。これ先行サイトでも同じような鋼管ぐで上に吹くというのがございまして、基本的な曲げに対しては鋼管杭が十分持っているということを説明をしております。で、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:58	ワンスパンの間の中でどういった非コンクリートの部分にどういった悪影響を与えるような被害想定考えかという時に、先ほど、副議長長さの違いによる、
0:53:10	江藤莉里ですとか地盤の物性のばらつきによるノジリというのを先行でもやっております、我々の中でもそういったものが、非コンクリートのワンスパンの中で出てくるだろうと、そういったところで今回こういった調査をさせていただいております。以上です。
0:53:27	そうですね非常に
0:53:32	見てね、確かに地盤のばらつき見た時に最大限のばらつきですよ、見て東証が入るっていう、全体ねじれが変わってくるってのはわかるので、
0:53:42	保守的な仮定のもとにやられてるんだなっていう理解をしたんですが、イマイエザキー一切に少しその辺のところもですね、目的とかそれを踏まえてですね、手法を含めて、ここちょっと説明を加えておいていただくとわかりやすくなるんじゃないかなと思います。
0:54:10	中国電力。
0:54:12	シミズです。はい。考え方と内容もわかるように記載をさせていただきます。
0:54:18	はい。すいませんお願いします。あとですね。
0:54:25	204 ページ。
0:54:30	207 ページ 204 ページなんだけど、
0:54:33	これやですか、204 ページに記載されたのは 4 断面の海側杭
0:54:39	陸額になってんですけど、これは、
0:54:42	陸風正しい。
0:54:44	ちょっと確認をしてください。
0:54:46	あと 207 ページも、これ海側 9 になったところ、李久我涌井。
0:54:51	じゃないかなと思うんですけど、ちょっとこれ、
0:54:55	どっちなのか確認をしていただけますか。これ正しければ正しいで結構なんですけど。はい。
0:55:00	はい中国電力の磯です。こちら衛藤、
0:55:04	今日、記載終わっておりますのでちょっとわかりにくくて大変申し訳ありません。ちょっとこの間、見方といいますか、海側ですね基本
0:55:15	他の分だけ同じようにエレベーション 15 メーターまであるものになります。
0:55:20	それに対して陸学区は

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:23	後ろに控えてる国になってますので気本間GL程度までしかないというところちょっとエレベーション 8.2 メートルまでというところで、ちょっと高さ関係の違うそうですね、そうするとこれ、図の並びが変なのかな。
0:55:35	ちょっと私思ったのは、
0:55:37	③③の、これが何だっけ、例えば 203 ページがマルヤマでの海側できて、
0:55:48	次は④④の陸に行つて、海に行つて、
0:55:53	陸に合ってるのかな。中国電力の磯田です。大変申し訳ありません。ちょっとすみませんまた少し確認させていただきますが、
0:56:02	おそらく江藤湖の凸 204 ページと 200、
0:56:08	203 ページ 204 ページの方はですね、ケース 1 の、203 ページの方が海涌井、
0:56:15	ケース、204 ページは、ケース 1 の理由悪意という記載が多分、おそらく正しいと思っておりますちょっとすみません。ここ、
0:56:25	まず表タイトルが間違っているというところがありますので、少し確認させて修正してまだあれですよここに入ってる応力増があつてんですよ、長さ関係見るとそうなのね、運用後リーダーで、
0:56:36	7、7 日なのかな、ちょっと気になったので、
0:56:40	すみませんが、もう一度確認をしていただいて、もうこれで正しいということならそれで結構です。
0:56:56	中国電力清水です。はい。承知いたしました。順番を入れ替えます。はい。私からは以上です。はい。
0:57:03	はあ。
0:57:05	規制庁の服部です。1 個だけ聞き忘れたのでちょっと確認します。
0:57:09	116 ページをお願いします。
0:57:15	ここで被覆コンクリート壁の下場のELですけど、
0:57:20	2.0 ってなってるんですよ。
0:57:24	74 ページの断面図を見ると、
0:57:30	5.5。
0:57:35	のように見えるんですけど、この 2.0 って合ってますか。
0:57:44	はい。ええ。
0:57:45	中国、中部です。すみません。今、5.5 と言われるどちらに何ページ。規制庁の服部です。74 ページの図の 3-2-8-7 なんですけど、
0:57:57	防波壁の下バーガー、ちょうど地下水のL5.5 の高さと同じぐらいにあるように見えるんですね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:09	だから、どっちかが間違ってるのかなって思ったんですが、
0:58:14	はい、中国電力磯です。はい。
0:58:18	申し訳ない少し確認させてください。まず構造といたしましては
0:58:23	116 ページに記載しております通り、エレベーション 2 メートルというところが、よくこんなパターンになっております。
0:58:31	ちょっと先ほどご指摘いただきました 74 ページというところが、
0:58:36	ちょっとすみません
0:58:38	コンクリートが何か短いような気も。
0:58:41	しております、
0:58:43	少し、
0:58:44	確認をさせていただきまして修正をさせていただきます。申し訳ありません。
0:58:48	規制庁のハツリですでは 116 ページの方は正しいということで理解すればいいんですか。はい。
0:58:55	はい。15 分で分離イソダですはい。
0:58:58	はい。その通りでございます。規制庁のハツリですはいわかりました私から以上です。
0:59:09	はい。規制庁チギラです。
0:59:11	それではちょっと私の方からも、
0:59:14	何点か確認させてください。まずちょっと導入部分。
0:59:19	からなんですけど、7 ページ、資料④の 7 ページ。
0:59:27	A 棟に 1.2 の構造概要っていうところで、
0:59:31	まず CISS イメージなんですけど、これってこれは何回か聞いているんですけど、陸側と、
0:59:39	海が両側に設置するのか、それとも片側に設置するのか、小令和どちら。
0:59:47	はい、中国電力伊佐です。どうぞ。
0:59:49	これ止水につきましては、陸側に、
0:59:52	のみ設置する方、
0:59:54	更新統しております。以上です。
0:59:57	ではちょっとそれがわかるようにですね、ちょっと書いといていただきたいというのが 1 点と、
1:00:04	あと、先ほどから先行で東海第 2 で似たような構造形式があるということでですね話があったんですけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:14	ちょっとどっかで導入時はうまくいくから上部工がですね、一連のって地震時の荷重伝達ってというのがちょっと複雑ですねっていう話で、この冒頭にですね、
1:00:27	2 番の変位とかあと慣性力とかがかかかってそれに対してここの部分の断面旅行でちょうどしますみたいなイメージ図があったので、
1:00:36	ちょっとその辺があった方が、理解が進むかなと思うので、ちょっとそこをつけるかどうかちょっと検討していただければと思いますが、いかがでしょうか。
1:00:46	城久世君、伊佐ですはい。すいません。東海大医院さんの主訴は、申し訳ありません、二次、三次元解析のところに記載されてた。
1:00:56	でございますとですね、多分構造概要のところの最初のところで、はい。あると思います。大変失礼いたしました。ちょっと岡田委員さんのちょっと資料を確認させていただきまして
1:01:06	本堂の基礎は岩上よりわかりやすい資料になるちょっと検討したいと思います。
1:01:12	はい。よろしく申し上げます。
1:01:15	衛藤 12 ページ。
1:01:18	お願いします。
1:01:20	この評価方針がここから始まるんですけど、
1:01:25	許可時、
1:01:28	からの編、とかGで説明されていた要求機能と設計法人という山の表で整理してもらったやつがあると思うんですけど。
1:01:38	あれがやっぱり
1:01:40	それぞれの部位ごとにですね整理されてると思いますので、それは
1:01:46	現状のものにリバイスしたものをですねつけていただきたいというふうに思いますが、
1:01:52	よろしいでしょうか。
1:01:55	はい。中国電力の遊佐です。
1:01:58	そういったの表につきましてはすみません、4 番の資料の目次に、通し番号 2 ページお願いいたします。
1:02:07	はい。
1:02:11	はい。長田です。うろ覚えで大変恐縮でございますが、1 ポツ 3 のところにですね確か尾川さんも同じような、つけている所がございます、
1:02:23	我々もちょっとここに付けてご説明したいなと思っております。以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:30	わかりました。ここ、1ポツ3で入れてると耐震と強度と共通のところってということでここで書いてるという。はい、わかりました。
1:02:40	では続いて13ページなんですけど、
1:02:44	この表の2-3-1のところでも各部位の役割ということで、これも許可時からの違いで、セメントミルクなんですけど、
1:02:54	中期の、
1:02:55	一番下ですね※の2のところでも、セメントミルクは岩盤に含むと。
1:03:01	ということそういったことになってはいるんですけど、
1:03:06	先ほどもあったと思うんですけどセメントミルク、
1:03:09	ほら、津波時の役割で、何と透水性を保持すると。
1:03:14	いう役割があるので、岩盤で崩落できないんじゃないかなと。
1:03:19	別に項目やっぱり項目立てする必要があるのかなとは思んですけどそのあたりいかがでしょう。
1:03:33	はい。はい。中国電力伊佐です。
1:03:37	と、
1:03:38	すみません。まずちょっと考え方の方、こういった記載をした考え方の方を説明させていただきますと、まずこのセメントミルクというのは
1:03:46	岩盤とかですね、杭を打設する際に、若干、
1:03:51	下旬を先に打設しますのでその隙間ができてそこを埋めるために全力を打つというようなものとなっております。
1:03:58	正すやはり非常に薄いものでございますのでなかなか評価するのは難しいと考えておまして、
1:04:06	まずこの考え方としてはまず
1:04:09	周辺の何番とですね、どう、
1:04:12	程度以上の強度があるところを、
1:04:14	ご説明させていただいて
1:04:17	今ちょっと岩盤と合わせて、
1:04:20	ご説明させていただいたらというふうに考えておりました。
1:04:23	なかなか単体で評価するとか、ちょっと
1:04:26	どうでしょうか。ちょっとすみません。はい。
1:04:29	規制庁吉良です許可時にはですねセメントミルク、ここについては難透水性ということがあるので、
1:04:40	評価しますということで、具体的な評価としては滑り安全率の評価をするということで、今の岩盤に法包含しますってということになると岩盤の滑り安全率を見るけど、でもセメントミルクって見れないよね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:54	ていうところでセメントミルクってツリーに対してどうなんですかっていう比較が抜けてしまうんですけどそこはどうでしょうか。
1:05:05	中部電力の伊佐ですはい。
1:05:07	すいません。衛藤。
1:05:09	小磯能勢セメント魅力は岩盤と同程度というところをご説明させていただきまして、今回この多田FLIPでモデル化していますがこの岩盤、これで滑り評価をしてあげて、
1:05:21	セメントミルク岩盤一体として、
1:05:24	評価できればというふうに考えております。
1:05:28	はい。
1:05:29	ちょっとそのあたりちょっと考え、角田ですね、方向なんでっていう話をですね
1:05:40	はい。ちょっと説明を追加していただいて、そちらの岩盤で評価しますということですのでねその辺をちょっと整理して、
1:05:50	また説明をお願いしたいと思います、よろしいでしょうか。
1:05:54	はい。城副電力会社ですはい。安保間瀬。
1:05:58	はい。これからまたですね今回岩盤に入れたところが御説明できておりませんのでちょっとそちらとあわせてですね、このセメント力の考え方というところをちょっと整理しまして、改めてご説明させていただけたらと思います。以上です。
1:06:13	はい。よろしく申し上げます。続いて 15 ページですけど、
1:06:18	こちらの許可時等のまず、この 2-3-3 の表なんですけど、これは耐震性の観点ということで、ここは
1:06:29	耐津波性についての観点というのは入っていないと、そういう理解で大丈夫すかね。はい。
1:06:35	わかりました。それなので改良地盤 05 っていうのを滑り評価とかっていうのは、今日、共同計算側、耐津波の方でやれると。
1:06:46	もう一つですね施設イメージは、変位量と合わせて節約に対する評価っていうのもあると思うんですけどそれも強度計算の方でやられるということよろしいでしょうか。
1:07:02	はい。16 年の松田です。はい。今ですねその漏えいが生じないことというところ水圧評価というところにつきましては、
1:07:10	主査少々お待ちください。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:28	申し訳ございません。中国電力、失礼いたしました。今回この止水目地のこの評価、漏えいというところにつきましてはまず水圧試験とかしまして、
1:07:40	漏えいしないというところを確認するということ。
1:07:42	それに、
1:07:44	の条件内に今回の結果がおさまるかということになると思っております。
1:07:50	ちょっとすみませんまた4番の資料の目次の方2ページ目になりますが、
1:07:57	2ページ目の2ポツ1というところが防波壁に関する補足説明。
1:08:02	これのうち、
1:08:06	まずシースイメージ自体その試験関係のお話は2ポツ1ポツ7というところでご説明させていただいております。
1:08:13	そしてそれが実際に
1:08:16	その条件内に収まっているかというところが、個別の強度計算書、
1:08:20	御説明数ると、今ところ考えておりますはい。以上です。
1:08:28	はい。規制とりあえず、わかりましたこの2ポツ1ポツ7のところ、試験の結果とか、そういったところが説明があるということで理解いたしました。
1:08:39	それと、同じく15ページのところなんですけど、これ、許可時から変わったなという観点なんですけど、
1:08:47	個人にはですねしすイメージの構成部材っていうのが、エントリーというかですね、入っていたんですけどこれってどっか行っちゃったんですかね。
1:08:58	殊、
1:09:00	あーす。
1:09:04	うん。
1:09:05	審査少々お待ちください。
1:09:23	はい。中国電力の磯田です。申し訳ありません。ちょっとすみませんシステムの構成部材につきましては、
1:09:31	月4回共同計算の方でご説明するものかなというところを少し、
1:09:38	ちょっとこちらの方で少し抜いていたというところがございます。
1:09:42	はい、わかりました。僕は大事なのでっていうことで理解しました。
1:09:48	続いて16ページですけど、
1:09:52	このフローなんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:56	このフローのところで、
1:10:00	退路地盤 4 と岩盤の滑り安定性の評価っていうのがどこで読めるのかなと思ったんですけど。
1:10:09	それはどこで読みますか。
1:10:12	はい。中国電力の伊佐です。あとこちらにつきましてはですね
1:10:16	真ん中のところですね施設、一番最後の下から二つ目にあります施設 括弧鋼管ぐいポツ地盤の健全性評価の地盤の健全性評価というところで、
1:10:28	読んでいただけたらと思っております。
1:10:30	はい、わかりましたこの 2 番ですね。はい、わかりました。
1:10:34	ちなみにこの
1:10:37	その箱の隣施設交換地盤の箱があってその通り施設の変形性評価っていうのは、このここで言う施設っていうのは止水目地を指しているということです。
1:10:50	15 分そうですね、ご理解の通りでございます。はい、わかりました。
1:10:55	続いて、27 ページお願いします。
1:11:05	と、
1:11:06	上から、
1:11:09	7 行目からですね、漂流物対策工の話があるんですけど、
1:11:15	ここっていうのはグループ対策工っていうのは、ここに出てくるんですけど、
1:11:22	そもそも何か、構造概要とか、評価法人っていうところ。
1:11:30	規制が必要なのかなどうなのかなって役割とか、性能目標とか、評価項目とかですね、その辺いつになるのかなっていうのとですね。
1:11:40	そもそもその耐震設計上のどう、どんなふうな扱いにしてるのかっていうのがちょっとわからなかったんですけど、ちょっとそこを説明いただけますか。
1:11:50	はい。中国電力の遊佐です。
1:11:53	はい。まず漂流対策工の設計方針とか
1:11:58	評価結果というところにつきましては、
1:12:00	何度も申し訳ありません。2 ページ目のまだ目次になります。
1:12:05	衛藤。
1:12:07	2 ポツ 1 ポツ 8、漂流物対策を、
1:12:10	に関する補足説明というところでご説明をさせていただけたらと思っております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:16	こちらで設計をします。表現かとかそういったところの考え方。
1:12:21	というところをご説明したいと思っております。
1:12:23	この防波壁に対する漂流対策の考え方ということで先ほど三浦さんからちょっとご指摘いただきました。基本は、
1:12:32	も防波壁としてはその重量を見込んで揺らしてどうなるかということだと思いますので、その重量の考え方、
1:12:39	どの程度重要でできるかとかですね、ちょっとそういったところを、
1:12:42	記載したいと思えます。またそもそもそこに至るまでに、こういったものがつくかっていうのがちょっとわからないとなかなかイメージできないと思えますのでちょっと、
1:12:52	すいませんと。
1:12:54	だっこの外径といったところも少しわかるようにした方が良いのかなと思っておりました。以上です。
1:13:02	はい。規制庁チギラです。別の資料で整理するっていうのはわかりましたが、
1:13:08	13 ページに戻ってもらうと、各部位の役割っていうのがあって、確かに地震時は、
1:13:14	重量だけ。
1:13:15	ウエイトで見るとっていうのもありかなとは思いますが津波時の役割っていうのはどうなんですかねっていうところなんですけどいかがですか。
1:13:27	はい。中オク電力ニシダです。はい。おっしゃる通りでございます、
1:13:32	津波時の役割すいません
1:13:35	きちんと整理せずに、を話してしまって恐縮なんですけども、
1:13:40	土肥様は表衝突荷重を、
1:13:44	分散をして、統廃合に伝えるという役割がございます。
1:13:49	ですので強度計算の補足説明上では、
1:13:55	ここに書くのかなあ。
1:14:00	ちょっとすいません共同計算ですね先ほどの、
1:14:03	堀田酒匂の補足説明というところをちょっと、
1:14:07	立ち位置というところを少し整理させていただいて、
1:15:05	はい中国新聞、伊佐ですはい。すいません。ありがとうございます。
1:15:10	ですのでちょっとこちらで漂流対策法というところもですねちょっと記載をして、この地震時、津波時、どういう考え方で対策を、
1:15:19	見るかということがわかるようにちょっと遷移させていただきたいと思えます。ありがとうございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:28	やはりここ出てくるんじゃないなくてやっぱり上流から出てきた方がいいと思いますのでそこら辺をちょっと検討していただければなというふうに思います。
1:15:39	あと、すいません。31 ページ。
1:15:43	荷重の組み合わせで、先ほど 3 次元のところに、
1:15:48	ただ荷重の内訳が出てきて、
1:15:52	関戸厚とか外性やつとかちょっとダブってるよねっていう話があったと思うんですけど。
1:15:58	この 2 次元でやる時っていうのも今、
1:16:02	ここ、
1:16:03	多分、先ほどの 3 次元の 123 ページみたいな表っていうのも、
1:16:09	結局見てるっていうことでいいんですかね自重があったりとか外製扱ったりとかあと、
1:16:16	接地圧も見てますという理解で大丈夫ですか。
1:16:21	はい。10 億円でごめんなさい。はい。
1:16:25	ご理解の通りでございます。
1:16:28	ちょっとそうするとここ 2、
1:16:31	くるのか先ほどの 3 次元との関係も含めてですねその辺ちょっと整理していただいた方がいいかなと思うんですけどいかがですか。
1:16:41	中国電力の機です。30 ページの方見ていただいてよろしいでしょうか。
1:16:47	ちょっと三次元ほどではないんですけども、ちょっとどういった荷重を見るかというのを、
1:16:53	一応箇条書きの方で書かせていただいております。
1:16:57	いかがでしょうか。
1:16:59	そうですね。これはわかっていてこれプラス 3 次元みたいな表があるのかどうなのかとかですね、あと 3 次元であそこの
1:17:10	記載をどうするかっていうのもあると思うんですけど、その辺ちょっと
1:17:15	含めてですね、ちょっと、
1:17:17	書かないという選択もあると思うんですけどちょっとその辺検討いただけますか。
1:17:22	はい。中国電力の伊佐ですはい、承知いたしました。参事の方ですね、少し、もう少し機材拡充というところがございますので、
1:17:29	二次元の方にも、と合わせるべきかとか、そういったそういったところを考えましてちょっと、
1:17:36	記載の方考えさせていただけたらと思います。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:43	はい。
1:17:46	はい。
1:17:48	はい、中国電力ヨシツグでございます。
1:17:56	昔のね、コミット所からしてもね、
1:17:59	そしたら基本的には、もともとね、工認図書ってどういうことを書いたかっていうと、塑性シアツとか静水やつもかみかけますって昔は二次元だったりなんかしてるからね、書いてんだよね。
1:18:12	それに該当するものが地震課長だから読めるってのは、それはさ、一つの技術者としてのもうちょっとエスティックな考え方であってさ、そのすべての人にちゃんと幅広くわかりやすく説明しようとする気は全くないというしか言いようがないので、それはちょっと、
1:18:29	不親切じゃないですかとは我々としては言わざるをえない。
1:18:34	はい。中国電力のヨシツグです。
1:18:36	はい。30 ページの、
1:18:39	文章のところに地震時荷重とか風荷重と書いてあるここにですね、こういった地震がかかった時の動圧度とか、水圧とかっていうのをきちんと書いて、ちょっと表現も含めて見直しをさせていただいた地震荷重とは何ぞやっていうことを含めて、あそこはね、
1:18:56	長期の果樹ものど厚も含めて入っているんだっていうことは、わかるようにしてもらえばいいだけだと思うんですけどね。はい。中国電力のヨシツグでございます。地震時にかかってくるとき
1:19:10	結果出てくる値をもう、
1:19:13	製品度圧も含めた地震時どう扱っていてそれを静止度圧か地震とわかって分けて、表記しているだけでございますので今、江崎さんおっしゃられた通りでございます。そういったところがわかるようにするのと、
1:19:24	3次元の場合はそれからこういった応答値を入れて、3次元で調査するのかっていうところでございますので、そこはちょっと
1:19:33	キド区分をしてですね、3次元で与えるべきものと、2次元では、こういう荷重を入れればこういったものが出てくる、かかっているかというところがわかるようにですね、ちょっと精査をさせていただけたらと思います。以上です。多分地下水の扱いは、多分有効力と全応力がかかりますよね。
1:19:51	電力は同数一体として扱っていたエザキ事業で一括して、コア事業としてやってますよね。
1:19:58	一方、有効力は、水圧はそういうやつを入れた評価してるわけですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:04	そうん。それがちゃんと、
1:20:06	分離できるようにしといた方がいいですよ。そんなに難しいこと書かなくてもいいと思うんだけど、
1:20:11	うん。
1:20:12	いうことの中で一応静水圧、
1:20:15	どうしても考えてるっていうような、考慮されてるっていうような書き方でいいと思うし、電力の場合は地下水に関しては一つ一体の設計を行って考慮されているとか、何かそういうふうに書いていただければいいと、わかりやすく書いていただければいいと思います。
1:20:29	はい。中国電力ヨシツグでございます。おっしゃられた通り地下水については
1:20:34	地盤の方のところの方は重量ということで考慮して、1回解析をしていると。液状化のを管理するFLIPの場合はそこを過剰間隙水圧ということで、
1:20:46	出てきて、ちゃんと評価できるようになっておりますので、
1:20:50	ちょっとですね、この項目だけだと、非常にわかりにくいということがよくわかりましたので、地震、常時から地震にかける、
1:21:00	と一体的な固定荷重とか積雪、風とは別にですね、ちょっと工夫をしてみたいと思います。以上です。
1:21:08	文章もちょっとね、工夫して欲しいんでねこの言い方って多分、
1:21:13	さ、要は、添付資料購入図書、
1:21:16	と一緒にしょ。だから、
1:21:23	点プーではある程度、
1:21:25	余りにもそうは抜けんなってないようにちゃんと書いといてもらう、もらわないと全部、補足に行かないとわからないっていう話にならずに、必ずにある程度概念はわかるようにしといてもらいたいなと思います。
1:21:44	はい。了解いたしました。
1:21:53	規制庁のハツトリでちょっと関連して1点だけ、先ほどの添付のほうに、重畳時の荷重ってのが出てきてるんですけど、それはここではどこ行っちゃうんでしょう、どこに行ってしまうんでしょうか。どうぞ。
1:22:06	はい。中国電力の伊佐です。庄司の方ですね、今日共同計算の方でご説明する案件だと思っております。ちょっと実際、女川さんの方見させていただきますと、
1:22:17	その先ほど与信の話とかも、共同計算側に記載をされておりましたので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:22	このように
1:22:25	衛藤共同計算の方でご説明をさせていただけたらと思っております。
1:22:30	岸院長のハツリです後それは少し理解してるんですけど、
1:22:34	それでも添付の方には出てくるってことなんですか、添付の方には出てくるけど、
1:22:55	規制庁の服部遊佐の地震応答計算書の方に出てくるということで耐震計算書の方には出てこないということで理解をしましてはいありがとうございます。
1:23:07	はい。規制庁吉浦です。あとすいませんあと三つばかりです。88 ページ。
1:23:17	どこだっけ。
1:23:20	ここは
1:23:23	木曾STACYとかー1を
1:23:26	もう一度括弧年制度で代表するってということなんですけど、
1:23:33	ステージも、
1:23:36	運用するんですよっていう確認で、これは 97 ページとかを見ると、
1:23:44	ステージのところも代用してると思うので、ちょっと
1:23:50	ちゃんとステージも書いといてくださいっていうことなんですけど基礎ステージと被覆 1 度ステージと三つですよっていう確認です。
1:24:00	はい。中国電力の伊佐ですはい。1 方のご理解の通りでございまして、水素STACY被覆石stageこちらすべてを
1:24:09	暑熱の
1:24:11	理解をした。
1:24:13	評価をしたと思っております。それでちょっとすみません後半なるとその、
1:24:17	ステージなりそういったところをちょっと聞いてしまっておりますのでちょっとはい、オカがないよ。
1:24:22	記載のほうを統一したいと思います。
1:24:25	はい。よろしく申し上げます。最後の方なんですけど、
1:24:30	101 ページいて、
1:24:36	材料の分つす。表の 3-2-8 のこの材料の物性値のところなんですけど、
1:24:45	起こって材料、それぞれ減衰定数って書かないのかなっていうのが一つと、もう一つついでに言うのですね、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:55	減衰定数野瀬説明っていうのがここまでになくてですね、レーリー減衰で設定するのかどうかとかですね、その設定方法とかこういう機械的な結果とかですねその辺ってどっかで説明ってあるんですけど。
1:25:12	それで少々お待ちください。
1:25:40	はい。中国電力の磯です。はい。まずお待たせいたしました失礼しました。材料の物性値につきまして
1:25:48	減衰定数の方は、
1:25:51	はい。少し、
1:25:53	確認をして記載させていただけたらと思います。
1:26:05	そうですねはい、おっしゃる通りでございます。
1:26:10	はい。すみません。ちょっとそこの方。
1:26:13	に、
1:26:14	相場です。
1:26:23	はい。はい。
1:26:26	はい。
1:26:32	中国電力清水ですはいえっとですね。
1:26:35	大体ご理解されていると思うんですけど 28 ページでd減衰を考慮するというので、剛性比例型減衰を設定しております、
1:26:44	後半の、
1:26:46	設計事例集等でも、推奨されているあまり、何て言いますか
1:26:53	履歴減衰も大きいものですからFLIPの方が
1:26:56	あまり大きくないレーリー減衰を設定するという考え方で一律設定の方をさせていただいております一つ一つの定数を使っているわけではございませんので、ちょっとその辺りの、
1:27:07	説明を追加させていただきます。
1:27:09	はい。
1:27:18	それは、防波壁全体に対して同じ考え方ですかねこの 28 ページ。
1:27:25	中国電力シミズですはい。防波壁も一番もう全部含めて入ってございます。
1:27:35	わかりました。はい。
1:27:41	私から以上ですけど他確認する。
1:27:44	内容。
1:27:46	ございますか。
1:27:55	違う。
1:28:14	はい。木曾イトウ木田です。それではこの

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:20	いいですか。はい、じゃ、お願いします。
1:28:25	規制庁の服部です記載だけなんですけど 123 ページお願いします。
1:28:32	ちょっとわかりやすさの観点で検討していただきたいのは、
1:28:37	この静止度圧のところです。
1:28:40	算定方法地震時応答解析、地震応答解析って書いてあって、この
1:28:44	内容は理解をしてるんですけど、
1:28:49	一般的に感覚的にわかりにくいので、
1:28:52	126 ページにあるよう2、
1:28:55	地震応答解析における常時解析とか、何か後、
1:28:59	あくまでも常時でやってんだよってということがわかるようにしていただきたいのと、
1:29:03	あと算出値ってのは、何でもかんでも算出値なんで、
1:29:07	おそらくその規制、既工認との相違の資料だと、公式とか何か書いてあった気がするんで、
1:29:13	公式であれば公式って書いといてもらった方が、算出して少しわかりにくかったので、
1:29:18	ちょっと検討していただければありがたいんですがいかがですか。
1:29:23	中国電力の伊佐です。はい。
1:29:26	ご指摘ありがとうございます。4 月の方ですねすみません
1:29:30	地震応答解析が抽出フローとうちの方に上場力とそれ書いておりました。ちょっとそれを左の方に移したいと思います。ぜひ参照値の方、
1:29:38	ちょっと公式といった記載ではい。
1:29:41	統一させていただけたらと思います。以上です。規制庁の服部ですはいよろしく申し上げます私から以上です。
1:29:50	はい。規制庁の由良です。それでは鋼管杭式溶液の資料に関して確認する点。
1:29:57	よろしいですかね。はい。
1:29:59	中国電力側から何かありますか。
1:30:03	中国電力シミズですはい特にございません。
1:30:07	はい。それでは、本日のヒアリングを終了いたします。ありがとうございました。ありがとうございました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。